

一般講演

口頭発表プログラム

- 口頭発表は質疑応答と交代の時間を含めて 15 分です。時間に沿った進行のため、12 分の発表と 2 分 30 秒の質疑応答をお願いします。
- 発表者ツールは画面共有失敗の原因になりやすいので極力使用をお控えください。どうしても使用したい場合はセッション前の試写で必ずご確認ください。

オンライン発表の方

- 本年会では接続確認は行いません。
- 発表の順番になりましたら、Zoom の「画面共有」で発表用ファイルを選択し、ミュートを解除して発表を行ってください。ビデオは ON をお願いします。

座長の方

- 座長を担当する方々で、あらかじめ連絡をとって分担する演題を決めておいてください。
- 座長一覧は、口頭発表プログラムの後にあります。

● 第1日 3月14日(金) 午前(9:30-12:30)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	発生・形態形成	オルガネラ/細胞骨格	ゲノム機能・遺伝子発現制御
09:30	<p>1aA01 ㊦</p> <p>Structure of a photosystem II - FCP II supercomplex from haptophyte reveals a new antenna organization Romain La Rocca, Koji Kato, Pi-Cheng Tsai, Yoshiki Nakajima, Fusamichi Akita, Jian-Ren Shen (Okayama University)</p>	<p>1aB01</p> <p>根をもたないコケ植物ゼニゴケの RGF オートログ-MpRGF の機能解析 篠原秀文¹, 古水千尋², 岩島亜季¹, 松田七海¹, 金巻泰亮¹, 今井雄星³, 西浜竜一³, 澤進一郎⁴(¹福井県大・生物資源, ²広島大・N-BARD, ³東京理科大・創域理工, ⁴熊本大・農学センター)</p>	<p>1aC01</p> <p>道管の二次細胞壁パターンを制御するアクチン重合促進因子の解析 菊島悠一郎¹, 貴嶋紗久², 佐々木武馬¹, 小田祥久¹(¹名古屋大・理・生命, ²産総研・生物プロセス)</p>	<p>1aD01 ㊦</p> <p>A genome assembly for tobacco BY-2 cells: chaos and stability Tobias Baskin¹, Kirk R. Amundson¹, Isabelle M. Henry², Luca Comai² (¹Biology Department, University of Massachusetts, Amherst, MA, USA, ²UC Davis Genome Center and Dept Plant Biology, UC Davis, California USA)</p>
09:45	<p>1aA02 ㊦</p> <p>New Energy transfer pathway between Lhca8 and Psaj in a green algal photosystem I-LHCI supercomplex revealed by its atomic structural analysis Pi-Cheng Tsai, Koji Kato, Jian-Ren Shen, Fusamichi Akita (RIIS, Univ. Okayama)</p>	<p>1aB02 ㊦</p> <p>TPD1 Peptide Signaling Regulates Thallus Development in the Liverwort <i>Marchantia polymorpha</i> Chihiro Furumizu¹, Hidefumi Shinohara², Mio Sasaki³, Shinichiro Sawa⁴ (¹N-BARD, Hiroshima Univ., ²Dept. Biosci. Biotech., Fukui Pref. Univ., ³Sch. Eng., Hiroshima Univ., ⁴Shinichiro Sawa)</p>	<p>1aC02</p> <p>タバコの葉の一過発現系を用いた全長ミオシン XI のライブイメージング 小原惇¹, 富永基樹^{1,2}(¹早稲田大・院・先進理工, ²早稲田大・教育総合科学・生物)</p>	<p>1aD02</p> <p>比較ゲノム解析によるゴマ属植物の系統進化の解明 田中裕之¹, 小笠原一郎², 瀬川天太², 村田純³, 高木宏樹⁴, 植垣裕斗⁵, 豊永宏美⁶, 白石慧³, 高木基成⁶, 豊田敦⁷, 佐藤杏子⁸, 若杉達也⁸, 堀川学³, 河瀬真琴⁹, 伊藤武彦³, 山本将之⁸(¹東京科学大・生命理工, ²サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社, ³サントリー生命科学財団 生物有機科学研究所, ⁴石川県立大・生物資源環境, ⁵富山大・院・理工, ⁶サントリーシステムテクノロジー株式会社, ⁷遺伝研, ⁸富山大・学術研究, 理, ⁹東農大・農)</p>
10:00	<p>1aA03</p> <p>ナンキョクカワノリ培養株における遠赤色光吸収型 LHC の発現条件検討 小杉真貴子, 亀井保博, 皆川純(基礎生物学研究所)</p>	<p>1aB03</p> <p>ゼニゴケ分裂組織における EPIDERMAL PATTERNING FACTOR 遺伝子 <i>MpEPFL2</i> の機能解析 平田祐貴¹, 門田幸恵², 岩木彩^{1,2}, 河内孝之², 西浜竜一¹(¹東京理科大・創域理工・生命生物, ²京大・院・生命科学)</p>	<p>1aC03</p> <p>表現型および細胞内イメージングによるゼニゴケミオシン XI の機能解析 内田悠哉¹, 金澤建彦^{2,3}, 小原惇¹, 上田貴志^{2,3}, 富永基樹^{1,4}(¹早稲田大・院・先進理工, ²基生研・細胞動態, ³先端学術院・総研大, ⁴早稲田大・教育総合科学・生物)</p>	<p>1aD03</p> <p>ホップ (<i>Humulus</i>) のゲノム解析と X-A バランス型性決定機構因子の同定 瀬川天太¹, 赤木剛士^{2,3}, 内田里佳², 田中裕之⁴, 白澤健太⁵, 山岸紀子⁶, 八重樫元⁶, 夏目俊⁷, 高木宏樹⁷, 阿部陽⁷, 奥野未来⁴, 豊田敦⁸, 佐藤杏子⁹, 本井傳有花², Cheng Zhang², 牛島幸一郎², Josef Patzak¹⁰, Lucie Horáková¹¹, Václav Bačovský¹¹, Roman Hobza¹¹, Deborah Charlesworth¹², 伊藤武彦⁴, 小笠原一郎¹(¹サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社, ²岡山大学大学院 環境生命科学研究所, ³日本バイオデータ株式会社, ⁴東京工業大学, ⁵かざきDNA研究所, ⁶若手大学, ⁷若手生物学研究センター, ⁸国立遺伝学研究所, ⁹富山大学, ¹⁰Czech Hop Research Institute, ¹¹Czech Academy of Science (CAS), ¹²University of Edinburgh)</p>
10:15	<p>1aA04</p> <p>海洋環境下での光の強度と色の変化適応におけるステート遷移の役割 久保田真人^{1,2}, 金恩哲^{1,2}, 石井麻子¹, 野田千代¹, 皆川純¹(¹基礎生物学研究所, ²総合研究大学院大学)</p>	<p>1aB04</p> <p>進化的に保存されたシトクロム <i>b₅</i> 様ヘム結合タンパク質である RLF はゼニゴケにおける適切な器官発生に必要である 岩田健太郎¹, 清水隆之^{2,3}, 酒井友希¹, 古谷朋之^{1,4,5}, 福村日向丸¹, 近藤佑貴^{1,5}, 増田建³, 石崎公庸¹, 深城英弘¹(¹神戸大・院・理, ²奈良女子大・理, ³東大・院・総合文化, ⁴立命館大・生命, ⁵阪大・院・理)</p>	<p>1aC04</p> <p>小葉植物イヌカタバミオシン遺伝子のゲノムワイドな同定と細胞内分子機能解析 植垣裕斗^{1,2}, 富永基樹^{1,2}(¹早稲田大・教育総合科学・生物, ²早稲田大・院・先進理工)</p>	<p>1aD04</p> <p>寄生植物に見られる遺伝子水平伝播による特化リグナン代謝進化 小笠原一郎¹, 清水皇穂², 瀬川天太¹, 村田純³, 豊永宏美⁶, 白石慧³, 高川仁起⁴, 堀川学³, 横山隆亮⁴, 星野敦⁶, 青木考²(¹サントリーグローバルイノベーションセンター(株), ²大阪公立大・院・農, ³(公財)サントリー生命科学財団, ⁴東北大・院・生命科学, ⁵基生研, ⁶総研大)</p>
10:30	<p>1aA05 ㊦</p> <p>Physiological and molecular characterization of rice (<i>Oryza sativa</i>) mutants and landraces for cold tolerance Mahbuba Khatoun¹, Shahin Imran² (¹Bangladesh Institute of Nuclear Agriculture, ²Shahin IMRAN)</p>	<p>1aB05</p> <p>HIRA を介したヒストン修飾の制御がゼニゴケの再生を促進する 久永哲也^{1,2}, Marco Schindler², Barbara Da Costa², Frederic Berger² (¹奈良先端大, ²グレゴールメンデル研究所)</p>	<p>1aC05</p> <p>根毛におけるオルガネラ再配置の基本原則 甘利俊樹^{1,4}, 永田典子², 富永基樹³, 高塚大知^{1,5} (¹金大・生命理工, ²日本女子大・理, ³早稲田大・教育・総合科学学術院, ⁴MEXT・ナノ卓越大学院プログラム, ⁵JST・さきかけ)</p>	<p>1aD05</p> <p>窒素固定能を失った非マメ科植物カスミヒメハギのゲノム解読 平川英樹¹, 橋本佳世², 川口正代司², 磯部祥子³, 佐藤修正⁴(¹九大・院・農, ²基生研・共生システム研究部, ³東大院・農学生命科学, ⁴東北大・院・生命科学)</p>
10:45	<p>1aA06</p> <p>海洋珪藻 <i>Chaetoceros gracilis</i> の光と CO₂ に応答した集光性色素タンパク質のリモデリング 中村翠¹, 熊沢稔¹, 長尾遼², 辻祥子¹, 鈴木健裕³, 石川規子¹, 堂前直³, 秋本誠志⁴, 伊福健太郎¹(¹京都大・院・農, ²静岡大・農, ³理研CSRS, ⁴神戸大・院・理)</p>	<p>1aB06</p> <p>コケ植物ゼニゴケの植物体切断片からの再生における R2R3-MYB 型転写因子の機能 安居佑季子^{1,2}, 加藤大貴^{1,3}, 田中涼葉¹, 深城英弘¹, 三村徹郎^{1,4}, 石崎公庸¹(¹神戸大・院・理, ²京大・院・生命, ³愛媛大・院・理工, ⁴京都先端科学大・バイオ環境)</p>	<p>1aC06</p> <p>陸上植物における細胞核光定位運動の獲得と多様化 岩淵功誠¹, 八木宏樹², 守屋健太³, 小松愛乃^{4,8}, 酒井友希⁵, 嶋田知生⁶, 西浜竜一⁷, 河内孝之⁸, 原田明子¹, 渡辺洋平², 上田晴子², 西村いくこ²(¹大阪医薬大・医, ²甲南大・理工, ³京大・生・生研, ⁴東北大・院・生命科学, ⁵神戸大・院・理, ⁶京大・院・理, ⁷東京理科大・理工, ⁸京大・院・生命科学)</p>	<p>1aD06</p> <p>褐藻の生育制御に関わる CSP の核酸結合解析 田中倫¹, 東見大², 吉原静恵^{1,2}(¹大阪公立大・院・理, ²大阪公立大・理)</p>

E会場	F会場	G会場	H会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
環境応答B/環境ストレス	植物ホルモン/シグナル伝達物質	生殖	植物生物間相互作用A				
<p>1aE01 亜鉛欠乏したシロイヌナズナの根におけるデンプン蓄積は浸透圧調節に寄与する 林童史, 長野稔, 深尾陽一朗(立命館大・院生命科学)</p>	<p>1aF01 フタバネゼニゴケにおけるリン酸欠乏に応じた組織特異的なストリゴラクトン合成 依田彬彦¹, 兄玉恭一¹, 嶋村正樹², 経塚淳子¹(¹東北大・生命科学, ²広島大・統合生命科学)</p>	<p>1aG01 ㊦ Rice OsAGO4a contributes to the shaping of male meiotic DNA methylome Huong Ta¹, Manaki Mimura², Seijiro Ono³, Hua Liu⁴, Taiji Kawakatsu⁵, Asuka Higo⁶, Hiroyuki Tsuji⁷, Atsushi Toyoda⁸, Mutsuko Nakano¹, Ken-Ichi Nonomura^{1,9}(¹Plant Cytogenet., NIG, ²Grad. Sch. Arg. Life Sci., Univ. Tokyo, ³Hamburg Univ., ⁴Zhejiang A&F Univ., ⁵Inst. Crop Sci., NARO, ⁶Ctr. Gene Res., Nagoya Univ., ⁷Biosci. Biotech Ctr., Nagoya Univ., ⁸Adv. Genom. Ctr., NIG, ⁹SOKEIDAI)</p>	<p>1aH01 コケ植物ヒメツリガネゴケの免疫応答における転写因子 CAMTA の役割 瀬津暁乃, 清野芳史, 太治輝昭, 坂田洋一, 四井いずみ(東京農大・バイオ)</p>	シンポジウムのコーナー Inter-cellular and Inter-organismal Communication (9:30-12:25)	To be or not to be: Intricate controls on developmental fate determination (9:30-12:30)	シンポジウムのコーナー New horizon of plant cell biology: novel insights into organization, dynamics, and functions of plant cell cortex (9:30-12:30)	09:30
<p>1aE02 ㊦ Transcriptomic Analyses of <i>Lotus japonicus</i> Under Combined Low Phosphorus Supply and Elevated Ambient Temperature Lydia Ratna Bunthara¹, ZePeng Sheng¹, Hirotuna Yamada¹, Jun Wasaki^{1,2}(¹Graduate School of Integrated Sciences for Life, Hiroshima University, Higashi-Hiroshima, Japan, ²Seto Inland Sea Carbon Neutral Research Center, Hiroshima University, Higashi-Hiroshima, Japan)</p>	<p>1aF02 寄生植物ストライガにおけるストリゴラクトン受容機構の多様化 出口真由¹, Yap Jia Xin², 土屋雄一朗^{1,2}(¹名大院・理学, ²名大・ITbM)</p>	<p>1aG02 花粉発生過程のライブイメージング 水多陽子^{1,2}(¹名大・ITbM, ²名大・高等研)</p>	<p>1aH02 ヒメツリガネゴケ CCD (chitin-induced cell death) の免疫応答における役割 清野芳史, 市橋武, 瀬津暁乃, 吉田美百合, 太治輝昭, 坂田洋一, 四井いずみ(東京農大・バイオ)</p>				09:45
<p>1aE03 OsHRZ の経路における OsbHLH058, OsbHLH059, OsIMA1 の鉄欠乏応答制御メカニズムの解明 深津鱒太郎, 池田明莉, 井原崇斗, 室田明星, 新川はるか, 小林高範(石川県大・生物資源工学)</p>	<p>1aF03 イチゴストリゴラクトン受容体 D14 ノックアウト個体における栄養繁殖能の解析 吉田梨乃¹, 宮地朋子², 藤泰子¹, 南杏鶴^{3,4}, 持田恵一^{3,4}, 吉田忠臣¹, 城所聡¹, 刑部敬史², 刑部祐里子¹(¹東京科学大・生命理工, ²徳島大・社会産業理工, ³理研・環境資源研セ, ⁴横浜市立大・木原生物学研究所)</p>	<p>1aG03 シロイヌナズナの花粉における PICALM2 の機能解析 海老根一生^{1,2}, 藤本優³, 室啓太⁴, 武内秀憲⁵, 野澤彰⁶, 東出あんな⁷, 植村知博⁷, 澤崎達也⁸, 東山哲也⁸, 上田貴志^{1,2}(¹基生研・細胞動態, ²総研大・先端学術院, ³東大・院農, ⁴大阪公大・院農, ⁵名大・ITbM, ⁶愛媛大・プロテオサイエンスセンター, ⁷お茶大・院, ⁸東大・院理)</p>	<p>1aH03 ㊦ Towards understanding the contribution of LRR-RLKs in immunity in the liverwort <i>Marchantia polymorpha</i> Yijia Yan¹, Yuki Hirakawa², Ana I. Caño Delgado³, Hirofumi Nakagami¹(¹Max Planck Institute for Plant Breeding Research, ²Hiroshima University, ³Centre for Research in Agricultural Genomics (CRAG))</p>				10:00
<p>1aE04 OsbHLH064 転写因子は鉄欠乏条件下におけるイネ葉の鉄恒常性と酸化ストレスを制御する 新川はるか¹, 塩谷太一¹, 室田明星¹, 永野惇^{2,3}, 小林高範¹(¹石川県大・生物資源工学, ²龍谷大・農, ³慶応大・先端生命科学)</p>	<p>1aF04 時間分解 FRET によるストリゴラクトン信号伝達複合体の <i>in vitro</i> モニタリング 鈴木泰輝¹, 加藤優佑¹, 石川智也², 新開千紜², 瀬戸義哉², 西山康太郎²(¹明大院・農, ²明大・農)</p>	<p>1aG04 ㊦ A novel <i>Arabidopsis thaliana</i> protein, POT1, plays an important role in maintaining integrity of pollen tubes Natalia Rzepecka¹, Yoko Ito³, Emi Ito⁴, Tomohiro Uemura²(¹Faculty of Core Research, Ochanomizu Univ., ²Graduate School of Humanities and Sciences, Ochanomizu Univ., ³Institute for Human Life Sciences, Ochanomizu Univ., ⁴JSPS Research Fellow, Ochanomizu Univ.)</p>	<p>1aH04 植物の免疫・栄養獲得を促進する二重機能性ペプチド受容体を介したリン枯渴環境適応機構 石田美月¹, 山下昂太², 梅澤泰史², 西條雄介¹(¹奈良先端大・バイオ, ²農工大・院・BASE)</p>				10:15
<p>1aE05 ㊦ Role of NITRATE TRANSPORTER 1.5 in auxin transport in <i>Arabidopsis</i> roots Rubaeat Sharmin Ema¹, Hayato Shinonaga¹, Naoki Takahashi², Masaaki Umeda¹(¹Grad. Sch. Sci. & Tech., NAIST, ²Dept. Life Sci., Sch. Agrl., Meiji Univ.)</p>	<p>1aF05 KL ミミックが誘導するイネ KL シグナル伝達因子間相互作用と遺伝子発現応答の実験的検証 田中慧太, Jiawang Wu, 亀岡啓(中国科学院・分子植物卓越中心)</p>	<p>1aG05 誘導的機能制御系による配偶子形成におけるヒメツリガネゴケ RKD 転写因子の機能解析 秋吉信宏, 養老瑛美子, 榊原恵子(立教大・生命理)</p>	<p>1aH05 ㊦ A conserved trehalase-derived MAMP is recognized via Lectin receptor kinases in <i>Arabidopsis</i> Erika Iino^{1,2}, Yasuhiro Kadota¹, Noriko Maki¹, Erika Ono¹, Kazuki Sato¹, Bruno Pok Man Ngou¹, Marc W Schmid³, Nobuaki Ishihama¹, Takamasa Suzuki⁴, Taketo Uehara⁵, Ken Shirasu^{1,2}(¹RIKEN CSRS, ²Graduate school of Science, The University of Tokyo, ³MW Schmid GmbH, ⁴Chubu University, ⁵National Agriculture and Food Research Organization)</p>				10:30
<p>1aE06 植物は水が土壌にたまり続けていることをどうやって知るのか? : 湛水初期の土壌で起きる低硝酸状態がイネの形態的過ストレス応答を誘導する 塩野克宏, 江尻真斗, 沢崎雄登, 江岸祐夏, 角田智詞(福井県大・院生物資源学)</p>	<p>1aF06 リチャードミズワラビにおける KL シグナル伝達の機能解析 藤村綾乃¹, 秦有輝¹, Xiaonan Xie², 瀬戸義哉², 経塚淳子¹(¹東北大・院生命科学, ²宇都宮大・バイオサイエンス教育研究センター, ³明治大・農学部農芸化学科)</p>	<p>1aG06 ヒメミカヅキモの RWP-RK 転写因子をコードする <i>CpRWP7</i> は生殖機能獲得に必要である 吉村美南¹, 西山智明², 関本弘之¹(¹日本女子大学・院・理, ²富山大・学術研究部・理化学系)</p>	<p>1aH06 リン枯渴応答制御因子 PHR1 を介した真菌感染の制御機構 石原大雅, 安田盛貴, 西條雄介(奈良先端大・バイオ)</p>				10:45

㊦ = 発表の言語は英語

● 第1日 3月14日(金) 午前(9:30-12:30)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	発生・形態形成	オルガネラ/細胞骨格	ゲノム機能・遺伝子発現制御
11:00	<p>1aA07 ツノケイソウにおける Lhcx タンパク質を介した光防御と強光順化の統合 熊沢暉¹, 秋本誠志², 高林厚史³, 辻祥子¹, 長谷川葉月⁴, 櫻井敦⁴, 今村社輔⁴, 石川規子¹, 井上(菓子野)名津子⁵, 菓子野康浩⁵, 伊福健太郎¹(¹京大院・農, ²神戸大院・理, ³北大・低温研, ⁴NTT・宇宙環境エネルギー研, ⁵兵衛大院・理学)</p>	<p>1aB07 ゼニゴケの R2R3-MYB 転写因子 SHOT GLASS は栄養繁殖器官および有性生殖器官の形成を促進する 酒井友希¹, 高見英幸¹, 山岡尚平², 加藤大貴^{1,3}, 三村徹郎^{1,4}, 深城英弘¹, 石崎公庸¹(¹神戸大・院・理, ²京大・院・生命, ³愛媛大・院・理工, ⁴京都先端科学大・バイオ環境)</p>	<p>1aC07 シロイヌナズナ葉において損傷葉緑体を除去するクロロファジーへの膜交通因子の関与 中村鉄郎¹, 海老根一生^{2,3}, 植村知博^{4,5}, 上田貴志^{2,3}, 萩原伸也¹, 泉正範¹(¹理研・CSRS, ²基生研・細胞動態, ³総研大・先端学術院, ⁴お茶大・院ライフサイエンス, ⁵お茶大・基幹研究院)</p>	<p>1aD07 ㊦ The splicing factor RBP45d regulates thermomorphogenesis in Arabidopsis Shih-Long Tu (Institute of Plant and Microbial Biology, Academia Sinica, Taipei, Taiwan)</p>
11:15	<p>1aA08 ㊦ Physiological function and assembly of the large PSI-LHCI supercomplex in the diatom <i>Chaetoceros gracilis</i> Jian Xing¹, Minoru Kumazawa¹, Seiji Akimoto², Shoko Tsuji¹, Noriko Ishikawa¹, Kentaro Ifuku¹(¹Grad. Sch. Agri., Univ. Kyoto, ²Grad. Sch. Sci., Univ. Kobe)</p>	<p>1aB08 ゼニゴケの発生と成長を制御する ROS の役割:低温プラズマ技術の応用に向けて 山下優音¹, 坪山祥子¹, 橋本貴史¹, 渡邊健志郎¹, 北村佳のん¹, 奥村賢直², 古閑一憲², 白谷正治², 朽津和幸¹(¹東京理科大・創域理工・生命生物学, ²九州大・システム情報科学)</p>	<p>1aC08 接木は組織修復においてオートファジーを誘導する 黒谷賢一¹, 篠崎大樹², 田畑亮⁴, 川勝弥一¹, 杉田亮平^{5,6}, 岡田健太郎¹, 宇津木優樹², 岡安浩二⁴, 森萌⁴, 田野井慶太郎³, 豊岡公德⁷, 吉本光希², 野田口理孝^{1,4,8,9}(¹名古屋大・生物機能開発利用研究センター, ²明治大・農・生命科学, ³明治大・研究知財, ⁴名古屋大・院生命農学, ⁵東京大・院農学・生命科学, ⁶名古屋大・アイソトープ総合センター, ⁷理研・環境資源科学センター, ⁸名古屋大・トランスフォーマティブ, ⁹京都大・院理学)</p>	<p>1aD08 シロイヌナズナ <i>drol1</i> 変異株のサブプレッサーの単離と解析 鈴木孝征¹, 丹羽智子^{2,3}(¹中部大・応用生物, ²明治大・農, ³明治大・研究知財)</p>
11:30	<p>1aA09 <i>Acaryochloris marina</i> 由来光化学系 II-クロロフィル結合蛋白質の 2.4 Å 分解能の構造解析 川上恵典¹, 眞木(米倉)さおり¹, 新澤(伊藤)恭子², 井上(菓子野)名津子², 伊藤繁³, 伊福健太郎⁴, 米倉功治^{1,5}, 菓子野康浩²(¹理化学研究所・放射光科学研究センター, ²兵庫県立大学・理学研究科, ³名古屋大学・理学研究科, ⁴京都大・農学研究科, ⁵東北大学・多元物質科学研究所)</p>	<p>1aB09 シングル核 RNA-seq 解析によるモノフィレアの分裂組織の細胞集団の同定と分子基盤の推定 中村駿志¹, 古賀皓之¹, 塚谷裕一(東京大・院・理)</p>	<p>1aC09 ヒメツリガネゴケにおいてオートファジー欠損株で誘導される早期老化の解析 井上悠子¹, 森安裕二², 吉本光希³(¹明治大学研究・知財戦略機構, ²埼玉大学 理工学研究科, ³明治大学 農学部)</p>	<p>1aD09 RNA ヘリケース AGS2 の解析により示されたミトコンドリア mRNA 転写後調節の生理的意義 滝田晴子^{1,2}, 間宮章仁³, June-Sik Kim^{2,4}, 杉山宗隆⁵, 持田恵一^{4,6,7}, 平山隆志^{1,2}(¹岡山山大・院環境生命, ²岡山山大・植物研, ³神戸大・院理, ⁴理研・環境資源セ, ⁵東大・院理, ⁶横浜市大・木原研, ⁷長崎大・情報科学)</p>
11:45	<p>1aA10 緑藻由来 LHCII の機能的及び構造学的多様性から特定の色素の機能を見る 関莊一郎^{1,2}, 山野奈美^{3,4}, ゴールアンドリュウ⁵, ロベルト ブルーノ⁵, 金恩哲⁶, 皆川純⁶, 宮田知子^{7,8}, 牧野文信^{7,8}, 田中秀明¹, 難波啓一^{7,8}, 栗栖源嗣^{1,8,9}, 藤井律子^{2,10,11}(¹阪大・蛋白質研, ²阪市大・院理, ³福岡大・理, ⁴中国人民大学, ⁵パリ・サクレー大, ⁶基生研, ⁷阪大・生命機能, ⁸阪大・日本電子 YOKOGUSHI 協働研, ⁹阪大・OTRI, ¹⁰阪公大・院理, ¹¹阪公大・人工光合成研究センター)</p>	<p>1aB10 Amborella のトランスクリプトームデータを用いた被子植物における葉の発生メカニズムの保存性に関する研究 中山北斗¹, 中村駿志¹, 江崎和音², 塚谷裕一(東大・院・理, ²立教大・理)</p>	<p>1aC10 発熱性を持つ裸子植物ソテツ (<i>Cycas revoluta</i>) 雄花由来ミトコンドリアを用いた定量的プロトオミクス:発熱タンパク質の探索と 2 型 NAD(P)H 脱水素酵素の有無について 松岡史花¹, 佐藤光彦², 稲葉丈人¹, 稲葉靖子^{1,3}(¹宮崎大・農, ²かずさ DNA 研, ³東北大院・生命)</p>	<p>1aD10 非 AUG 開始型上流 ORF と RNA 二次構造による翻訳制御を介したシロイヌナズナにおけるポリアミン合成のフィードバック機構 平部雄太¹, 安室美陽², 狩野泰平¹, 海藤篤¹, 崎浜靖子¹, 後藤優弥¹, 山下由衣¹, 内藤哲¹, 尾之内均¹(¹北大・院農, ²北大・農)</p>
12:00	<p>1aA11 沖繩の水路に生育するシフォナス緑藻 <i>Chlorella</i> の光合成活性と色素分布 関莊一郎^{1,2}, 小林康一³, 藤井律子^{1,3}(¹阪公大・人工光合成研究センター, ²阪大・蛋白質研, ³阪公大・理学部)</p>	<p>1aB11 カタバミにおける凹状先端を持つハート形小葉の形態形成:実験およびシミュレーションを統合した研究 王子壘¹, 井上康博², 望月敦史³, 塚谷裕一(東大・院・理, ²京大・院・工, ³京大・医生研)</p>	<p>1aC11 ㊦ Mitochondrial DNA and the 641kb nuclear-mitochondrial DNA in <i>Arabidopsis</i> can be separated by their CpG methylation levels Yuyang Zhong¹, Miki Okuno², Nobuhiro Tsutsumi¹, Shin-ichi Arimura¹(¹Grad. Sch. of Agri., Univ. Tokyo, ²Kurume Univ. Sch. of Med.)</p>	<p>1aD11 シロイヌナズナの日周の遺伝子発現と時計遺伝子 <i>LHY</i> における uORF を介した翻訳制御 青山悠¹, 荒江星拓², 山下由衣³, 豊田敦⁴, 内藤哲⁵, 反田直之⁵, 千葉由佳子^{1,6}(¹北大・院生命科学, ²東大・院新領域, ³北大・院農学, ⁴国立遺伝学研・先端ゲノミクス推進センター, ⁵大阪公立大・院農学研究・応用生物学, ⁶北大・理)</p>
12:15		<p>1aB12 多検体 RNA-Seq による生育温度がイネの籾発生過程に与える影響の解析 藍平陽葉¹, 川岸万紀子², 鹿島誠¹(¹東邦大学・理学研究科生物分子科学専攻, ²農業・食品産業技術総合研究機構生物機能利用研究部門)</p>	<p>1aC12 イネ・コムギ異質細胞質雑種における核-細胞質間の相互作用不全と細胞質雑種化によるその回復 渡部拓馬, Rattanawong Kasidit, 大西由之佑, 佐藤綾, 岡本龍史(東京都立大・理)</p>	<p>1aD12 tRNA wobbleU 修飾欠損シロイヌナズナ変異体の形態変化と遺伝子発現プロファイル 中井由実(大阪医薬大・医・生化学)</p>

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
環境応答B/環境ストレス	植物ホルモン/シグナル伝達物質	生殖	植物生物間相互作用A				
<p>1aE07 イネの節に形成される離生通気組織形成による耐水性機構の解明 永井啓祐, 森孝介, 谷本悠輔, 芦刈基行(名古屋大・生物センター)</p>	<p>1aF07 ㊦ The Green algae <i>Closterium peracerosum-strigosum-littorale</i> complex exhibits conserved KL sensing and signaling pathways shared with land plants Hsiang-Ting Lee¹, Tomoaki Nishiyama^{2,3}, Junko Kawai⁴, Keiko Sakakibara⁴, Kotaro Nishiyama⁵, Taiki Suzuki⁵, Yoshiya Seto⁵, Junko Kyoizuka¹ (1Graduate School of Life Science, Tohoku University, 2School of Science, Academic Assembly, University of Toyama, 3Research Center for Experimental Modeling of Human Disease, Kanazawa University, 4College of Science, Rikkyo University, 5Graduate School of Agriculture, Meiji University)</p>	<p>1aG07 有性生殖器官発生制御因子としての type-B BZR/BES 転写因子の機能比較解析 吉谷朋之^{1,2}, 梅北葵衣², 岩佐碧泉², 野崎翔平^{3,4}, 杉本貢一^{3,4}, 近藤侑貴¹, 笠原賢洋² (1大阪大・院・理, 2立命館大・生命, 3筑波大・生命環境, 4筑波大・T-PIRC)</p>	<p>1aH07 ㊦ Spatiotemporal dissection of humidity-triggered immunity in <i>Arabidopsis thaliana</i> Arullthevan Rajendram¹, Shigetaka Yasuda¹, Shioriko Ueda¹, Akihisa Shinozawa², Rahul Sk^{2,3}, Izumi Yotsui², Yutuke Saijo¹ (1. Grad. Sch. Sci and Tech., NAIST, 2. Dep. Biosci., Tokyo Univ. Agric., 3. NGRC, Tokyo Univ. Agric.)</p>	X 会場 Y 会場 Z 会場 シンポジウムA シンポジウムB シンポジウムC Inter-cellular and Inter-organismal Communication (9:30-12:25) To be or not to be: Intricate controls on developmental fate determination (9:30-12:30)	シンポジウムA シンポジウムB シンポジウムC To be or not to be: Intricate controls on developmental fate determination (9:30-12:30)	シンポジウムA シンポジウムB シンポジウムC New horizon of plant cell biology: novel insights into organization, dynamics, and functions of plant cell cortex (9:30-12:30)	11:00
<p>1aE08 アブラナ低酸素処理の初期応答における ABA の役割 篠澤章久¹, 横内望美¹, 高橋宏和², 中園幹生², 伊澤かなな¹, 中村進一¹ (1東農大・バイオ, 2名大院・生命農)</p>	<p>1aF08 ㊦ Negative feedback regulation of the KAI2-dependent signaling based on the duplication of KAI2 receptor in <i>Marchantia polymorpha</i> Aino Komatsu¹, Yohei Mizuno¹, Yoshiya Seto², Junko Kyoizuka¹ (1Grad. sch., Life Sci., Tohoku Univ., 2Sch. Agri., Meiji Univ.)</p>	<p>1aG08 苔類ゼニゴケの精子形成過程における phasiRNA 生合成経路の解析 穴田小恵¹, Bing-Nan Shen², Zhao-Jun Pan², Chao-Tzu Chung², 小谷亮太¹, 肥後あすか¹, 山岡高平¹, 井上佳祐^{1,3}, Shih-Shun Lin², 荒木崇¹ (1京大・院生命科学, 2台湾大・生物科技研究所, 3京大・生命情報解析教育センター)</p>	<p>1aH08 ㊦ Identification and Characterization of The Effector for The Paired NLRs Pit1 and Pit2 Alfino Sebastian¹, Motoki Shimizu², Nobuko Yasuda³, Ryohei Terauchi⁴, Fumi Fukada¹, Yoji Kawano¹ (1Institute of Plant Science and Resources, Okayama University, 2Iwate Biotechnology Research Center, Japan, 3National Agriculture and Food Research Organization, Japan, 4Laboratory of Crop Evolution, Kyoto University, Japan)</p>				11:15
<p>1aE09 光強度の違いに応じたコナラとポプラの葉におけるイソプレネン放出速度の日変化 辻祥子¹, 増井昇², 深山貴文³, 奥村智憲⁴, 高梨聡³, 谷見² (1京大, 2静岡県立大, 3森林総合研究所, 4大阪府立環境農林水産総合研究所)</p>	<p>1aF09 ㊦ Biochemical function of the KAI2 receptor proteins in a liverwort, <i>Marchantia polymorpha</i> Yoshiya Seto^{1,3}, Haruka Fukuda¹, Michio Kuruma¹, Joseph Noel², Gordon Louie², Takuya Miyakawa⁴, Zhangliang Zhu⁴, Junko Kyoizuka² (1School of Agriculture, Meiji University, 2Graduate School of Life Science, Tohoku University, 3The SALK institute for Biological Studies, 4Graduate School of Biostudies)</p>	<p>1aG09 ゼニゴケにおける精細胞特異的な選択的スライミングのプロファイリングと制御因子の探索 真柴誠¹, 肥後あすか¹, 山岡高平¹, 井上佳祐^{1,2}, 荒木崇¹ (1京大・院生命, 2京大・生命情報解析教育センター)</p>	<p>1aH09 ㊦ Transcriptional Landscape Of PRRs-RLCKs-TFs Involved In Rice Immunity Wangjing Wang, Fumi Fukada, Natsuko Ono, Tomoyuki Furuta, Hideki Nishimura, Yoji Kawano (Okayama Univ. Institute of Plant Science and Resources)</p>				11:30
<p>1aE10 光ブライミングは抗酸化剤欠乏シロイヌナズナにおいて光酸化ストレスを軽減する 佐々木星¹, 岩上拓己¹, 濱田あかね¹, 真野純一², 丸田隆典¹ (1鳥根大院・自然科学, 2山口大院・創成科学)</p>		<p>1aG10 ゼニゴケ精子運動パターンの定量評価手法の構築と解析 南野尚紀, 榎垣匠(熊本大・院・先端科学)</p>	<p>1aH10 サツマイモネコブセンチュウの根こぶ形成における巨大細胞発生機構の解析 神野奈穂^{1,2}, 三坂愛鈴¹, 鈴木れいら², 澤進一郎³ (1熊本大・院自然科学, 2熊本大・院先端科学, 3熊本大・生物環境農学国際研究センター)</p>				11:45
<p>1aE11 葉緑体ゲノム編集酵素を用いた除草剤メトリブジン耐性シロイヌナズナの作出 中里一星¹, 矢守航¹, 松村浩由², 曲玉辰¹, 奥野未来³, 堤伸浩¹, 有村慎一¹ (1東大・院・農生, 2立命館大・生命科学, 3久留米大・医)</p>		<p>1aG11 ゼニゴケにおける電位依存性 Ca²⁺チャネルホモログ遺伝子 MpVICSPERI の機能解析 森田瑞生¹, 末次憲之², 河内孝之³, 十川大輔⁴, 大和勝幸⁴ (1近畿大・院生物理工, 2東大・院総合文化, 3京大・院生命科学, 4近畿大・生物理工)</p>	<p>1aH11 リンドウ葉枯病菌による宿主植物への全体的な感受性誘導システムの解明 館田知佳^{1,2}, 岩井摩利³, 篠澤章久⁴, 齋藤宏昌⁵, 山下哲郎¹, 西原昌宏^{3,6}, 藤崎恒喜³, 島山勝徳¹ (1岩手大・農, 2JST さきがけ, 3岩手生工研・園芸, 4東京農大・分子微生物, 5東京農大・バイオ, 6福井県大・生物資源)</p>				12:00
<p>1aE12 ミトコンドリア電子伝達系複合体IV COX2 の RNA 編集の重金属耐性における役割 山崎明歩¹, 三沢昂輝¹, 澤井里歩¹, 旭文輝¹, 竹中瑞樹², 中里一星³, 有村慎一³, 四井いずみ¹, 太治輝昭¹, 坂田洋一¹ (1東京農大・バイオ, 2京大・院・理学, 3東京大・院・農)</p>		<p>1aG12 ゼニゴケ GEX1 オルソログは有性生殖に必須の配偶子核膜タンパク質である 當銘香也乃¹, 永塚さくら¹, 富田由紀², 荒木崇², 山岡高平², 南野尚紀³, 上田貴志^{4,5}, 西川周一⁶ (1新潟大・院・自然, 2京大・院・生命, 3熊本大・院・自然, 4基生研, 5総研大, 6新潟大・理)</p>	<p>1aH12 ㊦ Effector Signaling in Hypersensitive Cell Death of Plant: Single Molecule Signaling of Suppressor ROS and HR by using f-MRI Naotaka Furuichi (American Association for the Advancement of Sciences)</p>				12:15

㊦ = 発表の言語は英語

● 第1日 3月14日(金) 午後(14:00-16:45)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	発生・形態形成	オルガネラ/細胞骨格	ゲノム機能・遺伝子発現制御
14:00	<p>1pA01 サンゴ骨格内に生息する <i>Phaeophila dendroides</i> (アオサ藻綱アオサ目)において独立して獲得された新規遠赤色光捕集アンテナタンパク質複合体 大波千恵子¹, 得津隆太郎², 佐野奎志郎³, 土屋徹¹, 神川龍馬³, 吉田天士³, 宮下英明¹(¹京都大・院人間環境, ²京都大・院理, ³京都大・院農)</p>	<p>1pB01 ㊦ MAX2-dependent signaling regulates developmental phase change through cytokinin in the moss <i>Physcomitrium patens</i> Junko Kyoizuka¹, Yi Luo¹, Yuki Hata¹, Juri Ohtsuka¹, Aino Komatsu¹, Mikiko Kojima², Hitoshi Sakakibara^{2,3}(¹Grad. Sch. Life Sci., Tohoku Univ., ²RIKEN CSRS, ³Grad. Sch. Bioagricultural Sci., Nagoya Univ.)</p>	<p>1pC01 高温ストレスに対する葉緑体 Ca²⁺応答における機械受容チャネル MSL2 の役割 武内穂花, 東垣温, 田中智佳子, 山崎加奈子, 竹中雄大, 石崎陽子, 椎名隆(摂南大・農)</p>	<p>1pD01 多検体時系列トランスクリプトームによる細胞分化誘導動態の解析 伊藤広¹, 鹿島誠², 近藤侑貴¹(¹大阪大・院・理, ²東邦大・理)</p>
14:15	<p>1pA02 ㊦ Roles of Minor Red-Shifted Chlorophyll <i>a</i> in a Unicellular Green Alga <i>Neochloris</i> sp. Biwa 5-2 Fei Wang¹, Seiji Akimoto², Hideaki Miyashita¹(¹Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University, ²Graduate School of Science, Kobe University)</p>	<p>1pB02 ㊦ snRNA-seq analysis of the moss <i>Physcomitrium patens</i> reveals a conserved cytokinin-ESR module promoting pluripotent stem cell identity Yuki Hata¹, Nicola Hetherington², Kai Battenberg³, Atsuko Hirota⁴, Aki Minoda², Makoto Hayashi⁴, Junko Kyoizuka¹(¹Grad. Sch. Life Sci., Tohoku Univ., ²RIMLS, Radboud Univ., ³Stillinger Herbarium, Univ. Idaho, ⁴CSRS, RIKEN)</p>	<p>1pC02 糖脂質 DGDG はシロイヌナズナの孔辺細胞における葉緑体形成に必須である 大隈玲央奈, 宋普錫, 小畑智暉, 西村さくら, 射場厚, 称宜淳太郎(九州大・院・理)</p>	<p>1pD02 ㊦ AGO1b Regulates sRNA Loci, Methylation, and Gene Expression to Control Anther Development in Rice Zein Eddin Bader (RIKEN Center for Sustainable Resource Science (CSRS))</p>
14:30	<p>1pA03 シアノバクテリアにおける機能未知フィコビルタンパク質の解析 玉川瑞桜, 河合繁, 広瀬侑(豊橋技科大・工)</p>	<p>1pB03 コケ植物ヒメツリガネゴケにおけるオーキシン輸送の様式とその役割 末満寛太¹, 藤田知道², 植本悟史^{2,3}(¹北大・院生命科学, ²北大・院理, ³JST さきがけ)</p>	<p>1pC03 ㊦ Plastid Dynamics and Regulatory Mechanisms During Callus Formation Akira Iwase^{1,2}, Noriko Nagata³, Sho Fujii⁴, Arika Takebayashi¹, Hiroshi Hisano⁵, Takashi Yaeno⁶, Koichi Kobayashi⁷, Keiko Sugimoto¹(¹RIKEN CSRS, ²JST PRESTO, ³Fac. Sci., Japan Women's U., ⁴Fac. Agric. Life Sci., Hirosaki U., ⁵IPSR, Okayama U., ⁶Grad. Sch. Agric., Ehime U., ⁷Grad. Sch. Sci., Osaka Metropolitan U.)</p>	<p>1pD03 シロイヌナズナにおける DNA メチル化編集技術開発の試み 平田峻也¹, 小園大成², 河合顕真², 池田陽子³, 小林括平⁴, 西村泰介², 賀屋秀隆⁴(¹愛媛大・連合農学, ²長岡技科大・院工, ³岡山大・資源研, ⁴愛媛大・院農)</p>
14:45	<p>1pA04 シアノバクテリア <i>Synechocystis</i> sp. PCC 6803 における光色順化の解析 久布白睦実, 大津卓人, 浴俊彦, 広瀬侑(豊橋技科大・院工)</p>	<p>1pB04 ヒメツリガネゴケにおける配偶体依存的な胞子体発生の分子機構の解明 養老美子¹, 磯田玲華², 川出健介³, 中村匡良², 榎原恵子¹(¹立教大・生命理, ²名古屋大・WPI-ITbM, ³埼玉大院・理工)</p>	<p>1pC04 シロイヌナズナの新規葉緑体局在タンパク質 LIPID RICH 1 は脂質蓄積を抑制する 山口萌¹, 重信秀治², 山口勝司², 東泰弘³, 岡咲洋三⁴, 斉藤和季⁵, 三城恵美⁵, 加納圭子⁵, 杉山龍介⁶, 山崎真巳⁶, 菅野茂夫⁷, 福吉修一⁸, 上田晴子⁹, 西村いくこ⁹, 島田貴士¹(¹千葉大・院・園芸, ²基生研, ³理化学研究所, ⁴三重大, ⁵名古屋大, ⁶千葉大・院・薬, ⁷産総研, ⁸金沢大, ⁹甲南大)</p>	<p>1pD04 一細胞解像度 3D 免疫染色によるイネ茎頂メリステムのエピジェネティック修飾解析 森下友梨香¹, 高田峻輔², 吉田綾², 肥後あすか², 辻寛之³(¹名大院・生命農学, ²横浜市大・木原生物学研究所, ³名大・生物機能開発利用研究センター)</p>
15:00	<p>1pA05 単一分子蛍光異方性測定によるクロロフィルを含む光化学系Iの Uphill 光捕集経路の解明 谷口遼¹, 篠田稔行², 梶達也², 叶深¹, 柴田稔¹(¹東北大学大学院理学研究科, ²東京理科大学理学研究科)</p>	<p>1pB05 ツノゴケにおける TALE 型ホモボックス転写因子 KNOX, BELL 遺伝子の機能解析 江崎和音, 榎原恵子(立教大・理)</p>	<p>1pC05 <i>Cyanidioschyzon merolae</i> のレトログレードシグナル伝達における bZIP 型転写因子の役割 齋藤遼¹, Prerna Bora², 田中寛², 岡島俊英³, 華岡光正^{1,4,5}(¹千葉大・院園芸・応用生命, ²東科大・化生研, ³阪大・産研, ⁴千葉大・植物分子科学研究セ, ⁵千葉大・宇宙園芸研究セ)</p>	<p>1pD05 浸透圧ストレス誘導性液液相分離を介した新規 ABA 合成抑制転写制御因子の機能解析 佐藤理^{1,2}, 藤本聡³, 藤田美紀², 高橋史憲², 桑田啓子⁴, 松永幸大¹, 篠崎和子^{5,6}, 篠崎一雄²(¹東大・新領域, ²理研・環境資源科学研究セ, ³東理大・理工, ⁴名大・ITbM, ⁵東大・農学生命科学, ⁶東京農大・農生命科学研)</p>
15:15	<p>1pA06 低温分光顕微鏡による励起-蛍光スペクトル検出はクラミドモナス細胞内の光化学系Iにおける巨大アンテナ複合体の存在を示す 張先駿^{1,2}, 谷口遼¹, 叶深¹, 柴田稔¹(¹東北大・院理, ²マサチューセッツ工科大)</p>	<p>1pB06 ヒメミカヅキモ BELL 遺伝子の接合胞子発芽における役割 専田梨瑛子¹, 川井絢子¹, 秋吉信宏¹, 西山智明², 小竹敬久³, 高木智子⁴, 関本弘之⁴, 榎原恵子¹(¹立教大・院理, ²富山大・院理, ³埼玉大・院理, ⁴日本女子大・院理)</p>	<p>1pC06 葉緑体制御因子 BPG4 による ROS に応答した GLK 転写因子制御メカニズムの解明 立花諒, 大橋隆生, 宇治原千裕, 山上あゆみ, 宮川拓也, 中野雄司(京大・院生命科学)</p>	<p>1pD06 ㊦ Towards Understanding the Molecular Mechanisms Behind H3K4me1-Driven Genomic Mutation Bias Satoyo Oya, Daniela Quiroz, Grey Monroe (Dept. Plant Sci., Univ. California, Davis)</p>
15:30	<p>1pA07 ㊦ A novel method for Cryo-EM protein sample preparation based on Clear-Native-PAGE Zitong Yang^{1,2}, Shinsa Kameo^{1,2}, Genji Kurisu³, Ryouichi Tanaka^{1,2}, Akihiro Kawamoto³, Atsushi Takabayashi^{1,2}(¹ILTS, Hokkaido Univ., ²Grad. Sch. Env. Sci., Hokkaido Univ., ³Inst. Protein Res.)</p>	<p>1pB07 シロイヌナズナ TCP 転写因子が制御する細胞伸長の情報伝達経路 小山知嗣¹, 豊永宏美¹, 延原美香¹, 光田展隆², 石田順子³, 岡原明³, 高橋宏二^{4,5}, 木下俊則^{4,5}, 別所歩武⁶, 國枝正^{6,7}, 出村拓^{6,7}, 高木優⁸(¹公財)サントリ生命科学財団, ²産業技術総合研究所・生物プロセス研究部門, ³理化学研究所・環境資源科学研究センター, ⁴名古屋大学大学院・院理, ⁵名古屋大学・院理, ⁶産業技術総合研究所・生命分子研究所, ⁷奈良先端科学技術大学院大学・バイオサイエンス領域, ⁸奈良先端科学技術大学院大学・デジタルグリーンイノベーションセンター, ⁹埼玉大・院理)</p>	<p>1pC07 ドメイン欠失したシロイヌナズナ GLK1 タンパク質の DNA 結合特異性の解析 椎葉豊¹, 伊東恵¹, 稲葉靖子^{1,2}, 稲葉丈人¹(¹宮崎大・農, ²東北大院・生命)</p>	<p>1pD07 Planimization: 植物と動物のハイブリッド細胞を創る 松永幸大¹, 青木遼太¹, 乾弥生¹, 小玉智恵¹, 石田萌音¹, 岡部耀二¹, 西原秀典², 藏本多恵², 坂本卓也³, 佐藤優子⁴, 木村宏⁵, 佐藤蘭子⁶, 武田紀子⁶, 豊岡公徳⁶, 梶達也⁷, 園池公毅⁸, 丸山真一朗¹, 松永朋子¹(¹東大・院・新領域・先端生命, ²近畿大・農・生物機能, ³神奈川大・理, ⁴九州大・生体防衛医学研, ⁵科学大・科学技術創成, ⁶理研・CSRS, ⁷東京理大・教養, ⁸早稲田大・教育総合科学)</p>

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
花成/時計	植物ホルモン/シグナル伝達物質	生体膜・イオン・物質輸送	システム生物学				
<p>1pE01 ㊦ The effect of doming on the phyllotaxis during the phase transition in <i>Arabidopsis thaliana</i> Natsumi Yoshida, Takashi Okamoto, Atsuko Kinoshita (Tokyo Metropolitan Univ.)</p>	<p>1pF01 シロイヌナズナの子葉の葉肉細胞の面積を制御するオーキシンは表皮細胞のインドールグルコシノレートから合成される 多部田弘光^{1,2}, 金俊植¹, 古賀皓之³, 亀山輝樹², 廣田敦子¹, 藤佑志郎¹, 森哲也¹, 佐藤心郎¹, 林誠¹, 持田恵一¹, 塚谷裕一³, Ali Ferjan², 平井優美^{1,4} (1理研CSRS, 2学芸大・教育・生命, 3東京大・院・理学, 4名大・院・生命農学)</p>	<p>1pG01 ㊦ Key Amino Acid Residues Governing CO₂ Permeability in Arabidopsis PIP2 Aquaporins Shaila Shermin Tania, Izumi C. Mori (Institute of Plant Science and Resources, Chuo 2-20-1, Kurashiki, 710-0046 Okayama, Japan)</p>	<p>1pH01 ケミカルトランスクリプトミクス及びブルダウンアッセイを用いたシロイヌナズナにおける focal adhesion kinase 阻害剤の評価 李河暎¹, 森山奈津美¹, 檜垣匠², 佐藤綾人³, 草野修平⁴, 永野淳^{1,5} (1龍谷大学, 農学部, 2熊本大学, 大学院先端科学研究部, 3トランスフォーメティブ生命分子研究所, 名古屋大学, 4理化学研究所 環境資源科学研究センター, 5慶應義塾大学先端生命科学研究所)</p>	シンポジウムのコア Underground Chatter: The hidden but lively exchange at the root-soil interface (14:00-16:45)		シンポジウムのコア Toward Elucidating PHYTOCOSM: Multiscale Syntheses Between Photosynthetic and Heterotrophic Organisms on Earth (14:00-16:45)	14:00
<p>1pE02 概日時計出力系遺伝子が制御する側根発達メカニズム解明 野本颯汰¹, 大名門拓実¹, 間瀬皓介¹, 前田明里², 坂岡里実¹, 森上敦¹, 鈴木孝征³, 稲垣宗一⁴, Todd Michael⁵, 中道範人², 塚越啓央¹ (1名城大・農, 2名古屋大・生命農, 3中部大・応用生物, 4東京大・院・理・生物, 5ソーク研究所)</p>	<p>1pF02 モモ幼梢基部からの効率的な不定根の形成誘導 田村勝徳, 深松陽介, 小田賢司 (岡山県農林水産総合センター生物科学研究所)</p>	<p>1pG02 細胞膜プロトンポンプを活性化するプロテインキナーゼの同定 井上晋一郎^{1,2}, 永利友佳理³, 林真紀¹, 奥村将樹¹, 藤田泰成³, 木下俊則^{1,4} (1埼玉大・院理工, 2名古屋大・院理, 3国立研究開発法人国際農林水産業研究センター, 4名古屋大・ITbM)</p>	<p>1pH02 ㊦ ATTED-II Version 12.0: A Plant Gene Coexpression Database for Comparative Analysis Across Flowering Plants Takeshi Obayashi^{1,2} (1Grad. Sch. Info. Sci., Tohoku Univ., 2WPI-AIMEC, Tohoku Univ.)</p>				14:15
<p>1pE03 ムギ類のフロリゲンは花成と茎伸長を促進する 井藤純¹, 野村有子¹, 高萩航太郎², 金俊植^{2,3}, 鹿島誠⁴, 久野裕³, 佐藤奈緒¹, 安川新平¹, 半田裕一⁵, 最相大輔³, 持田恵一², 平山隆志³, 辻寛之^{1,6} (1横浜市大・木原生研, 2理研CSRS, 3岡山大・植物研, 4東邦大・理, 5京都府大・院生命環境, 6名古屋大・生物機能開発利用研究センター)</p>	<p>1pF03 コケ植物と被子植物におけるオーキシン不活化経路の違い 安居院勇輝¹, 菅沼有紀¹, 嶋村正樹², 林謙一郎³, 笠原博幸^{1,4} (1農工大・院・農, 2広島大院・統, 3岡山理大・生, 4理研CSRS)</p>	<p>1pG03 ㊦ The regulatory interaction between calmodulin-like protein CML13 and tonoplast magnesium ion transporter MRS2-1 Xiaoyu Yang¹, Hexin Xu², Motoyuki Hattori², Natsuko I. Kobayashi¹, Yuko Kurita¹, Keitaro Tanoi¹ (1Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo, 2School of Life Sciences, Fudan University)</p>	<p>1pH03 ㊦ A network approach for the identification of gene clusters in the transcriptome during Nicotiana benthamiana interfamily grafting Frank Opoku-Agyemang¹, Ken-ichi Kurotani², Michitaka Notaguchi³ (1Grad.Sch.Agric.NagoyaUniv., 2Biosci.Biotech.Ctr.NagoyaUniv., 3Grad.Sch.Sci.KyotoUniv.)</p>				14:30
<p>1pE04 植物ホルモンは茎頂におけるフロリゲンの細胞間移行制御にはたらく 村田裕介, 阿部光知 (東大・院総合文化)</p>	<p>1pF04 オーキシン存在下で特異的に相互作用する改変 TIR1—改変 IAA7 デグロン直交ペアの開発 高橋宏二^{1,2}, 萩原伸也³ (1名古屋大・院理・生命, 2名古屋大・ITbM, 3理研・CSRS)</p>	<p>1pG04 花粉発達におけるホウ酸トランスポーターの機能 室啓太¹, 張哲¹, 山崎有紗², 松本真希², 吉成見³, 田中佑樹⁴, 小椋康光⁴, 藤原徹⁵, 高野順平^{1,2} (1大阪公大・院農, 2大阪府大・院生命環境, 3名古屋大・ITbM, 4千葉大・院薬, 5東大・院農)</p>	<p>1pH04 乾燥環境下におけるイネのイソクエン酸リアーゼ遺伝子の機能解析 岡山恭之進^{1,2}, 草野都^{2,3,4}, 小林誠⁴, 遠藤真咲⁵ (1国際農研・生物資源・利用, 2筑波大・生命環境系, 3筑波大・つくば機能植物イノベーション研究センター, 4理研・環境資源科学研究センター, 5農研機構・生物研)</p>				14:45
<p>1pE05 寄生植物ネナシカブラの花成における宿主 FT 蛋白質の機能解析 高川仁起¹, 阿部光知², 横山隆亮³ (1東北大・院理, 2東京大・院総合文化, 3東北大・院・生命科学)</p>	<p>1pF05 シロイヌナズナにおける改変 TIR1—Aux/IAA デグロンペアの <i>in vivo</i> 機能検証 泉正範¹, 高橋宏二^{2,3}, 中村咲耶¹, 萩原伸也¹ (1理研・CSRS, 2名大・院理, 3名大・ITbM)</p>	<p>1pG05 イネのホウ素吸収における OsLsi1 の極性局在の意義 小西範幸, 馬建鋒 (岡山大・植物研)</p>	<p>1pH05 コムギ 25 系統のトランスクリプトームのモデリングによるシス/トランス制御構造の解明 野村康之¹, 岡田萌子^{2,3,4}, 重為才覚^{2,5}, 竹中祥太郎¹, 清水健太郎^{2,3}, 那須田周平⁶, 永野淳^{1,7} (1龍谷大・農, 2横浜市大・木原生, 3チューリッヒ大学, 4新潟大・院自然科学, 5京府大・院生命環境, 6京大・院農, 7慶應大・IAB)</p>				15:00
<p>1pE06 変異型 FT タンパク質を用いた FT 輸送制御機構の解明 小坂井南実, 阿部光知² (1東大・院・理, 2東大・院・総合文化)</p>	<p>1pF06 イネの玄米粒重を向上させる薬剤の探索 赤羽根健生¹, 市川円香², 池田和由^{3,4}, 米澤朋起⁴, 石丸健⁵, 加藤悦子⁶, 廣津直樹^{1,2} (1東洋大・院・生命科学, 2東洋大・生命科学, 3理研・計算科学, 4慶應大・薬学, 5農研機構・作物研, 6東洋大・食環境科学)</p>	<p>1pG06 ㊦ Identification of a transporter for cobalt ion uptake in rice Hengliang Huang, Naoki Yamaji, Sheng Huang, Jian Feng Ma (Institute of Plant Science and Resources, Okayama University)</p>	<p>1pH06 レドックスプロテオミクスを用いたジスルフィド電位の網羅解析手法の開発 田中謙也^{1,2,3}, 近藤昭彦^{1,3,4,5}, 蓮沼誠久^{1,3,4} (1神戸大・先端バイオ工研セ, 2阪大院・基礎工太陽エネ研セ, 3神戸大院・科技イノベ, 4理研・環境資源, 5神戸大院・工)</p>				15:15
<p>1pE07 シロイヌナズナ花成制御遺伝子 FT の発現を司る内在 cis-element の役割について 大野奈津美¹, 三木葉葵², 山本真結香², 吉田歳人², 根岸克弥³, 遠藤真咲⁴, 小林正樹⁵, 小林括平¹, 土岐精一^{4,6,7,8}, 阿部光知⁹, 賀屋秀隆¹ (1愛媛大・院・農, 2愛媛大・農, 3農研機構 果茶研, 4農研機構 生物研, 5国際農研 林業領域, 6龍谷大・農・植物生命, 7横浜市大・生命ナノ, 8横浜市大・木原生研, 9東大・院・総合文化)</p>	<p>1pF07 ケージド蛍光オーキシンを用いたオーキシン細胞間輸送の解析 青山剛士¹, 南保正和¹, Eunice Gwee², 土方優², 佐藤良勝^{1,2,3}, 土屋雄一郎^{1,3} (1名大・ITbM, 2名大・未来社会脱炭センター, 3名古屋大学・生命理学)</p>	<p>1pG07 イネのマンガン吸収に対する根の外皮のスベリン蓄積の影響 藤井理樹, 山地直樹, 馬建鋒 (岡山大学・資源植物科学研究所)</p>	<p>1pH07 【演題取り下げ】</p>				15:30

㊦ = 発表の言語は英語

● 第1日 3月14日(金) 午後(14:00-16:45)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	発生・形態形成	オルガネラ/細胞骨格	ゲノム機能・遺伝子発現制御
15:45	<p>1pA08 クラミドモナスの光化学系 I のリモデリング及びそれを取り巻くタンパク質間相互作用 小川由¹, Gyana Prakash Mahapatra², Andre-Vidal Meireles³, Laura Mosebach¹, Yuval Milrad¹, Jan Schuller², Michael Hippler¹ (1 ミュンスター大学・植物生物工学研, 2 マールブルク大学・合成微生物学センター, 3 HUN-REN・植物研)</p>	<p>1pB08 シロイヌナズナでの雑種強勢に関連する候補遺伝子の初期生育における機能の検証 前田龍輝¹, 和田七夕子¹, Wijayanti Putri¹, 宇津木一陽¹, 高山誠司², 伊藤寿朗¹ (1 奈良先端大・バイオ・花発生分子遺伝学, 2 東大院・農学生命科学研究科)</p>	<p>1pC08 シロイヌナズナ単一 B-BOX タンパク質による葉緑体発達の制御 魚田宏太郎¹, 鐘麻理¹, 東菜未¹, 清水秋帆¹, 稲葉靖子^{1,2}, 稲葉丈人¹ (1 宮崎大・農, 2 東北大院・生命)</p>	<p>1pD08 <i>Cyanidioschyzon merolae</i> の染色体ドメイン構造形成におけるコヒーシンの機能解析 坂本卓也¹, 中山南², Daniel Slane², 青木遼太², 乾弥生², 森俊之介², 松永朋子², 吉田大和³, 鈴木孝征⁴, 田中寛⁵, 松永幸大² (1 神奈川大・理・理, 2 東大・院・新領域, 3 東大・院・理, 4 中部大・応用生物・応用生物, 5 東京科学大・化生研)</p>
16:00	<p>1pA09 Q_B 周辺構造がもたらす光化学系 II の機能への影響 多田高亮¹, 山形果穂¹, 小山和美², 杉浦美羽^{1,2} (1 愛媛大学大学院・理工学研究科, 2 愛媛大学・プロテオサイエンスセンター)</p>	<p>1pB09 ㊦ Investigation of the Molecular Mechanism of Petiole Development in <i>Arabidopsis thaliana</i> Yuqie Zhao, Zining Wang, Hokuto Nakayama, Hirokazu Tsukaya (Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo)</p>	<p>1pC09 葉緑体分化過程におけるファージ型色素体 RNA ポリメラーゼの機能解析 黒滝悠志, 藤井桂 (弘前大・院・農生)</p>	<p>1pD09 シロイヌナズナのエコタイプにおける核セントロメア配置の解析 矢野賢人¹, 朽名夏磨², 坂本卓也¹ (1 神奈川大・理・理, 2 エルピクセル株式会社)</p>
16:15	<p>1pA10 光化学系 II の Mn 高親和性部位の配位環境 中村直彦, 小崎慎也, 三野広幸 (名古屋大・院・理)</p>	<p>1pB10 3つの異なる組織培養系における植物細胞の脱分化に伴う核小体の発達とその要因 森川龍¹, 米倉崇晃¹, 岩本訓知¹, 森中初音², 宮下貴文³, 岩元明敏⁴, 鳥津舜治⁵, 近藤侑貴⁵, 大林祝^{6,7}, 杉山宗隆¹ (1 東京大・院・理・生物科学, 2 理研・CSRS, 3 神奈川大・院・理・生物科学, 4 神奈川大・理・生物, 5 大阪大・院・理・生物科学, 6 国立成功大・生命科学, 7 国立成功大・熱植研)</p>	<p>1pC10 葉緑体分裂に関与するペプチドグリカン合成系遺伝子のシダ植物カニクサからの単離と機能解析 宮部朱里¹, 今別府崇¹, 武智克彰², 高野博嘉² (1 熊本大学自然科学教育部, 2 熊本大・院・先端科学)</p>	
16:30	<p>1pA11 多周波電子常磁性共鳴(EPR)法によるマンガノクラスター S₂g-5 状態の磁気構造解析 小崎慎也¹, 中島芳樹², 沈建仁², 三野広幸¹ (1 名古屋大・院・理, 2 岡山大・異分野基礎研)</p>	<p>1pB11 シロイヌナズナのシュート再生における SWI2/SNF2 ファミリー因子 BTAF1 の役割 萩原雪乃¹, 森中初音², 問宮章仁³, 岩本訓知¹, 伊藤(大橋)恭子¹, 岩瀬哲², 杉本慶子², 米倉崇晃¹, 杉山宗隆¹ (1 東京大・院・理, 2 理研・CSRS, 3 神戸大・院・理)</p>	<p>1pC11 ヒメツリガネゴケの葉緑体型ペプチドグリカンに含まれる D-アミノ酸の合成に関わる遺伝子の探索 中村陸人¹, 吉元清夏¹, 滝下美桜², 伊藤智和³, 武智克彰⁴, 高野博嘉⁴ (1 熊本大・院・自然科学, 2 熊本大・理学部, 3 名大・院・生命農, 4 熊本大・院・先端科学)</p>	

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
花成/時計	植物ホルモン/シグナル伝達物質	生体膜・イオン・物質輸送	システム生物学				
	<p>1pF08 新規ブラシノステロイドシグナル伝達促進因子 BIL7 によるマスター転写因子 BIL1/BZR1 の機能調節を介した植物成長促進機構の解析 西田快世¹, 仲村友介¹, 山上あゆみ¹, 宮川拓也¹, 松井南², 浅見忠男³, 中野雄司¹ (1京大院・生命, 2理研・CSRS, 3東大院・農)</p> <p>1pF09 ブラシノステロイドシグナル伝達因子 BIL7 の高発現イネにおける種子収量および環境ストレス耐性の解析 西本彩乃¹, 山上あゆみ¹, 石川典子², 柏原正和², Namuunaa Ganbayar¹, Bujin Bardorj¹, 森昌樹³, 浅見忠男⁴, 中野雄司¹ (1京大・院生命, 2JT植物イノベーションセンター, 3農研機構, 4東大・院農学生命)</p>	<p>1pG08 イネ篩管液中に検出される高濃度ケイ素に関する考察 山地直樹, 三谷奈見季, 小西範幸, 新屋友規, 馬建鋒 (岡山大・植物研)</p> <p>1pG09 シロイヌナズナにおける高親和性 K⁺輸送体を介した K⁺利用機構の解明 山梨太郎¹, 内山剛志¹, 堀越智也¹, 高木智子², 吉田哲¹, 池田隼人³, 横北卓也³, 菊英寿³, 清水未崎⁴, 斎藤芳郎⁴, 三輪美沙子¹, 遠山翔¹, 松山成男¹, 永田典子², 山上睦⁵, Ellen Tanudjaja¹, 石丸泰寛¹, 魚住信之¹ (1東北大・院工学研究科, 2日本女子大・化学生命科学, 3東北大・先端量子ビーム科学研究センター, 4東北大・院薬学研究科, 5環境科学研究所)</p> <p>1pG10 トマト果房基部節における同化産物転流の動態解析 松倉千昭¹, 蔡凱賢², 尹永根³, 三好悠太³, 榎本一之³, 鈴井伸郎³, 野田祐作³, 河地有木³ (1筑波大学生命環境系, 2筑波大学院生命地球科学研究群, 3量子科学技術研究開発機構 高崎量子技術基盤研究所)</p> <p>1pG11 野外ポプラにおける葉位ごとの季節的なシンク-ソース推移の解明 栗田悠子¹, 鹿島誠², 馬場啓一³, 石崎公庸⁴, 小林奈通子¹, 田野井慶太郎¹, 三村徹郎^{4,5}, 永野惇^{6,7} (1東京大・院・農, 2東邦大・理, 3京都大・生存研, 4神戸大・院・理, 5京都先端科学大・バイオ環境, 6龍谷大・農, 7慶應大・IAB)</p>	<p>1pH08 統合オミクス解析から紐解く植物ホルモンアブシシン酸による代謝制御機構 吉田拓也^{1,2,3,4}, Aisdaïr R. Fernie¹ (1マックスプランク研究所MPIMP, 2ミュンヘン工大, 3基生研・トランスオミクス解析室, 4総研大・基礎生物学)</p> <p>1pH09 AtSRGA: シロイヌナズナのストレス応答遺伝子を探索・視覚化する Shiny アプリケーション 福田由介¹, 川口晃平^{1,2}, 福島敦史^{1,3} (1京都府大院・生命環境, 2東京科学大・生命理工, 3理研CSRS)</p> <p>1pH10 E Relaxed selection constraints in pulvinus-expressed genes facilitate the evolution of rapid movement in <i>Mimosa</i> Yan-Han Fang¹, Hiroaki Mano², Tomoaki Nishiyama³, Mitsuyasu Hasebe^{2,4}, Chao-Li Huang^{1,5} (1Graduate Program in Translational Agricultural Sciences, National Cheng Kung University and Academia Sinica, Taiwan, 2Division of Evolutionary Biology, National Institute for Basic Biology, Japan, 3Research Center for Experimental Modeling of Human Disease, Kanazawa University, Japan, 4Basic Biology Program, SOKENDAI (The Graduate University for Advanced Studies), Japan, 5Institute of Tropical Plant Sciences and Microbiology, National Cheng Kung University, Taiwan)</p> <p>1pH11 シロイヌナズナ混植による虫害減少を NeighborGWAS 法によって予測・検証した 清水健太郎^{1,2}, 佐藤安弘^{1,3,4}, 武田和也³, Bernhard Schmid⁵, 永野敦^{3,6,7} (1チューリッヒ大・進化環境, 2横浜国立大・木原生研, 3龍谷大・食農, 4北大・環境, 5チューリッヒ大・地理, 6龍谷大・農, 7慶應大・先端生命)</p>	シンポジウムの04 Underground Chatter: The hidden but lively exchange at the root-soil interface (14:00-16:45)		シンポジウムの05 Toward Elucidating PHYTOCOSM: Multiscale Syntheses Between Photosynthetic and Heterotrophic Organisms on Earth (14:00-16:45)	15:45 16:00 16:15 16:30

E = 発表の言語は英語

● 第2日 3月15日(土) 午前(9:00-12:00)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	発生・形態形成	オルガネラ/細胞骨格	一次代謝
09:00	2aA01 シアノバクテリアの光化学系における鏡像異性体 PG の影響 棚瀬元貴 ¹ , 安部真人 ² , 和田元 ³ , 西山佳孝 ¹ , 神保晴彦 ^{1,3} (¹ 埼玉大・院理工, ² 愛媛大院・農学研, ³ 東大院・総合文化)	2aB01 植物の再生能力獲得に関与するエビジェネティック・プライミング機構の解析 半田和華 ¹ , 佐藤輝 ¹ , 坂本卓也 ² , 松永幸大 ¹ (¹ 東大・院・新領域・先端生命, ² 神奈川大・理・理)	2aC01 高温馴化過程におけるシロイヌナズナ HSP101の局在解析 西柚季 ¹ , 下山詩結 ¹ , 市川芽依 ² , 山本祐規子 ² , 武井敬仁 ² , 濱田隆宏 ^{1,2} (¹ 岡山理科大・院・理工学, ² 岡山理科大・理・生物化学)	2aD01 グルタチオン施用植物におけるアミノ酸蓄積に対する <i>NodGS</i> 遺伝子の影響 野田壮一郎, 逸見健司, 小川健一(岡山県農林水産総合センター生物科学研究所)
09:15	2aA02 緑藻クラミドモナスにおける PSI 光阻害の解析 高橋拓子 ¹ , 小池壮太郎 ² , 高木咲歩 ² , 西山佳孝 ¹ (¹ 埼玉大学大学院・理工学研究所, ² 埼玉大学・理学部・分子生物)	2aB02 ㊦ Functional analysis of a blue light receptor during <i>de novo</i> plant regeneration Min Li ¹ , Hikaru Sato ¹ , Takuya Sakamoto ² , Yayoi Inui ¹ , Kazunari Yamamoto ¹ , Tomonao Matsushita ³ , Sachihiro Matsunaga ¹ (¹ Grad. Sch. of Front. Sci., Univ. Tokyo, ² Grad. Sch. Sci., Univ. Kanagawa, ³ Grad. Sch. Sci., Univ. Kyoto)	2aC02 HSPs を含むストレス顆粒の融合に関わるキネシンの探索 大坪尚矢 ¹ , 西柚季 ² , 市川芽依 ¹ , 山本祐規子 ¹ , 笹部美知子 ³ , 大谷美沙都 ⁴ , 今見考志 ⁵ , 武井敬仁 ¹ , 濱田隆宏 ^{1,2} (¹ 岡山理科大・院・理工, ² 岡山理科大・理・ ³ 弘前大・農学生命, ⁴ 東京大・院・新領域, ⁵ 理研・IMS)	2aD02 酸化型グルタチオン施用による窒素利用効率の向上と生育適応条件の拡大 小川健一 ¹ , 望月智史 ¹ , 野田壮一郎 ¹ , 岩崎(葉田)郁 ¹ , 中川昌人 ¹ , 西川正信 ¹ , 茂木靖和 ² , 渡邊仁志 ² (¹ 岡山県農林水産総合センター生物科学研究所, ² 岐阜県森林研究所)
09:30	2aA03 光化学系 II の高温耐性における抗酸化能およびタンパク質合成の役割 Pornpan Napaumpaiporn, 西山佳孝(埼玉大・院理工)	2aB03 ㊦ Roles of the Epidermal Tissue in Shoot Regeneration of Arabidopsis Yuki Doll, Momoko Ikeuchi (Div. Bio. Sci., Grad. Sch. Sci. Tech., NAIST)	2aC03 道管の細胞壁形成を制御する ROP エフェクターの解析 小林恒, 佐々木武馬, 小田祥久(名古屋大・院理・生命理学)	2aD03 窒素施肥条件の違いがイネ種子中の遊離アミノ酸含有量および組成に及ぼす影響の品種間差解析 岸江彩, 高木大輔(摂南大学大学院 農学研究科)
09:45	2aA04 光化学系 I 電子供与体および電子受容体側の制御が光化学系 I 光阻害に与える影響 植川友季 ¹ , 山本宏 ² , 鹿内利治 ² , 坂本亘 ¹ (¹ 岡山大学・植物研, ² 京都大学・理)	2aB04 カサルの多能性獲得および側根形成における WOX13 の機能解析 大平えり, 池内桃子(奈良先端大・バイオ)	2aC04 道管の細胞壁パターン制御に関与する DOCK 型 ROP 活性化タンパク質の機能解析 永江桃子, 佐々木武馬, 小田祥久(名古屋大・理・生命)	2aD04 <i>OsGS1;1</i> 欠損がアンモニウム態窒素の濃度変化でイネの成長に与える影響 野崎重衣 ¹ , 深井千隼 ¹ , 福島敦史 ^{2,6} , 小島創一 ³ , 草野都 ^{4,5,6} (¹ 筑波大・院生命地球科学研究群 生物資源科学学位プログラム, ² 京都府立大・院生命環境科学研究科, ³ 東北大・院農学研究科応用生命科学専攻, ⁴ 筑波大・生命環境系, ⁵ 筑波大学つくば植物機能イノベーション研究センター, ⁶ 理化学研究所環境資源科学研究センター)
10:00	2aA05 プラストキノンとフェレドキシンによる PSI 循環的電子伝達の制御:プロトン駆動力 $\Delta\psi$ 誘導の示唆 佐藤勇斗 ¹ , 大原悠利 ¹ , Guy Hanke ² , 伊福健太郎 ¹ , 鈴木雄二 ⁴ , 牧野周 ^{5,6} , 森垣憲一 ¹ , 三宅親弘 ¹ (¹ 神戸大・院農, ² Sch Biochem Chem, QMUL, ³ 京大・院農, ⁴ 岩手大・農, ⁵ 東北大・院農, ⁶ 東北大・高度教育)	2aB05 ㊦ Prolonged cold enhance pluripotency acquisition to promote regeneration in Arabidopsis Fuyu Hung (RIKEN)	2aC05 篩要素における新規微小管付随タンパク質の解析 杉山友香 ^{1,2} , 小田祥久 ² (¹ 名古屋大・高等研究院, ² 名古屋大・理・生命理学)	2aD05 <i>SnRK1-FBH4</i> モジュールによる窒素欠乏に応じた花成と代謝制御機構 眞木美帆 ¹ , 小椋円花 ² , 久保見生 ³ , 稲垣宗一 ⁴ , Filip Roland ⁵ , 高木純平 ¹ , 佐藤長緒 ¹ (¹ 北大・院理, ² 北大・理, ³ 北大・院生命, ⁴ 東大院・理, ⁵ Dept. Biol, KU Leuven)
10:15	2aA06 <i>RBCS-antisense</i> イネでのプラストキノン還元およびフェレドキシン酸化は膜電位形成不全と共に PSI サイクリックを抑制する 大原悠利 ¹ , 大津和花 ¹ , 伊福健太郎 ² , 森垣憲一 ¹ , 嶋川銀河 ¹ , 鈴木雄二 ³ , 牧野周 ^{4,5} , 三宅親弘 ¹ (¹ 神戸大学大学院農学研究科, ² 京都大学大学院農学研究科, ³ 岩手大学農学部, ⁴ 東北大大学院高度教育・学生支援機構, ⁵ 東北大大学院農学研究科)	2aB06 分化細胞起源のシュート再生過程におけるシングルセルトランスクリプトーム解析 森中初音 ¹ , 鳥井孝太郎 ¹ , 石東博 ¹ , 河村彩子 ¹ , 鈴木孝征 ² , 岩瀬哲 ¹ , 東山哲也 ³ , 杉山宗隆 ³ , 杉本慶子 ³ (¹ 理研・CSRS, ² 中部大・応用生物・応用生物化学, ³ 東京大・院・理・生物科学)	2aC06 巨大単細胞緑藻ハネモのオルガネラ輸送機構について 小川華美, 五島剛太(名古屋大学理学研究科附属管高臨海実験所(NU-MBL))	2aD06 C/N ストレス応答に関わる膜交通制御因子 MIN7/BEN1/BIG5 は分泌経路に影響を与える 遠藤海斗 ¹ , 松井博輝 ² , 江田樹那 ² , 眞木美帆 ³ , 高木純平 ³ , 佐藤長緒 ³ (¹ 北大・院生命, ² 北大・理, ³ 北大・院理)
10:30	2aA07 光合成電子伝達鎖に対する阻害効果はアンチマイシン A タイプごとに異なる 今泉暎 ¹ , 高木大輔 ² , 伊福健太郎 ¹ (¹ 京都大・院・農, ² 摂南大・院・農)	2aB07 ㊦ Molecular mechanisms of self-organization in plant regeneration Ye Zhang, Hazel Marie Kugan, Varin Pornpanomchai, Masaaki Umeda (Grad. Sch. Sci. & Tech., NAIST)	2aC07 新規微小管-小胞体相互作用因子の解析 土井翠, 佐々木武馬, 小田祥久(名古屋大・院理・生命理学)	2aD07 <i>Drosera tokaiensis</i> subsp. <i>tokaiensis</i> の出芽に対する硝酸イオンの影響 岡本樹世 ¹ , 石川剛翔 ² , 稲吉舞優 ² , 伊藤新一郎 ¹ , 吉岡有咲 ² , 高谷信之 ² , 小俣達男 ² , 愛知真木子 ² (¹ 中部大・院・応用生物, ² 中部大・応用生物)

E会場	F会場	G会場	H会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
環境応答B/環境ストレス	植物ホルモン/シグナル伝達物質	生殖	植物生物間相互作用B	X会場	Y会場	Z会場	
<p>2aE01 過酸化脂質から生じる活性カルボニル種はグルタチオントランスフェラーゼ Tau アイソザイムの共通基質である中須賀亮介¹, 橋口拓男², 真野純一^{1,3}(¹山口大院・創成科学,²宮崎大・地域資源創成,³山口大・総合科学セ)</p>	<p>2aF01 気孔由来ペプチドホルモンを介した葉肉細胞の間隙形成 吉田祐樹¹, 神崎ちひろ², 田代美空², 布上和摩³, 澤進一郎^{1,2,3}(¹熊本大・理学センタ,²熊本大・院自然科学,³熊本大・理)</p>	<p>2aG01 柱頭のプロトンポンプがアブラナ科植物の受粉後過程に関与する 林真妃¹, 福島和紀¹, 増子(鈴木)潤美¹, 井上晋一郎², 木下俊則^{3,4}, 高田美信¹, 渡辺正夫¹(¹東北大・院生命,²埼玉大・院理工,³名古屋大・院理,⁴名古屋大・ITbM)</p>	<p>2aH01 ㊦ Nutrient Conditions Influence The Tripartite Interaction of <i>Arabidopsis thaliana</i>, Bacterium <i>Pseudomonas aeruginosa</i>, and Fungus <i>Colletotrichum tofieldiae</i> Yuniar Devi Utami¹, Jun Murata², Rikako Hirata³, Akira Mine³, Kei Hiruma¹(¹Grad. Sch. Arts and Sci., Univ. Tokyo, ²Suntary Foundation for Life Sciences, ³Grad. Sch. Agr., Kyoto Univ.)</p>	<p>X会場 シンポジウムの09 Multi-signal processing mechanisms: how plants simultaneously deal with different stimuli? (9:00-11:50)</p>	<p>Y会場 シンポジウムの07 Advanced plant-omics in plant sustainability and environmental resilience (9:00-12:00)</p>	<p>Z会場 シンポジウムS08 原核光合成生物ザ・シンポジウム (9:00-12:00)</p>	09:00
<p>2aE02 酸化シグナル分子アクリロレインを消去する植物の低分子化合物 真野純一^{1,2}, 羽田紋子², 松岡恭正³(¹山口大・総科セ,²山口大院・創成科学,³山口大・総合技術部)</p>	<p>2aF02 根のスクロース含量における CLE2 の正の効果に関する生理学的解析 岡本睦¹, 相馬愛², 杉田亮平³, 佐々木亮介⁴, 川出健介^{4,5}, 及川彰^{4,6}, 平井優美⁴, 田野井慶太郎²(¹新潟大・院自然科学,²東京大・院農学生命科学,³名古屋大・アイソトープ総合センター,⁴理研CSRS,⁵埼玉大・院理工,⁶京大・院農)</p>	<p>2aG02 シロイヌナズナ野生系統における異種花粉の受容に働く遺伝子の探索 松浦直司¹, 加藤義宣^{1,2}, 白澤健太³, 森佳代¹, 高山誠司¹, 藤井壮太^{1,4}(¹東大院・農生,²STさきかけ,³かずさDNA研究所,⁴サントリー-SunRise)</p>	<p>2aH02 栄養交換に着目したリン濃度依存的な植物・糸状菌の共生関係制御メカニズムの探索 渡邊大祐¹, 杉田亮平², 奥村将樹³, 相馬愛⁴, 田野井慶太郎⁴, 晝間敬¹(¹東大・院総合文化,²名大・アイソトープ,³横浜市大・木原生研,⁴東大・院農)</p>				09:15
<p>2aE03 トマト B3-Raf 様キナーゼファミリーの機能解析 グエン・トゥオン, 木村晋之介, 四井いずみ, 太治輝昭, 坂田洋一(東京農大・バイオ)</p>	<p>2aF03 ペプチドホルモンの成熟に関わるチロシン硫酸化酵素の短いタンパク質アイソフォームの機能解析 三星亮太郎¹, 白井一正², 花田耕介², 嶋田知生¹, 松林嘉克², 岡義人¹, 松下智直¹(¹京大・院・理,²九工大・院・情報工学,³名大・院・理)</p>	<p>2aG03 花粉管から放出された直後の精細胞膜および peri-germ cell membrane の動態 杉直也¹, 須崎大地^{1,2}, 海老根一生^{3,4}, 武内秀憲^{5,6}, 永原史織⁷, 木下哲¹, Thomas Wiedez⁸, 丸山大輔¹(¹横浜市大・木原生研,²静岡大・学院院理学領域,³基生研・細胞動態,⁴総研大・先端学術院,⁵名大・ITbM,⁶名大・高等研,⁷京大・院・理,⁸Univ. Lyon, ENS de Lyon, UCB Lyon, CNRS, INRAE)</p>	<p>2aH03 ㊦ The root endophytic fungus <i>Colletotrichum tofieldiae</i> promotes plant growth under nitrogen-limiting conditions via multiple strategies Tan Anh Nhi Nguyen¹, Yuniar Devi Utami¹, Masami Nakamura⁴, Takuya Wada¹, Kenta Ikazaki², Kei Hiruma¹(¹The University of Tokyo, ²Crop, Livestock and Environment Division, JIRCAS)</p>				09:30
<p>2aE04 非生物ストレス応答におけるミオシン XI の機能解析 劉海洋¹, 富永基樹²(¹早稲田大・院・先進理工,²早稲田大・教育総合科学・生物)</p>	<p>2aF04 ㊦ Novel CLE peptides are involved in the regulation of cambium stem cells during secondary growth in Arabidopsis Hui Cao¹, Kohji Murase², Dongbo Shi^{1,3}(¹University of Potsdam, ²University of Tokyo, ³RIKEN)</p>	<p>2aG04 植物の生殖におけるブラシノステロイドの機能解析 松浦公美^{1,2}, 鈴木孝征³, 木全祐資⁴, 竹林裕美子⁵, 植田美那子⁴, 中野雄司⁶, 榎原均⁵, 中野明彦¹, 東山哲也²(¹理研-RAP,²東大・院理,³中部大・応用生物,⁴東北大・院生命科学,⁵理研-CSRS,⁶京大・院生命科学)</p>	<p>2aH04 根圏の窒素栄養の局所および長距離シグナルが条件付の寄生植物コシオガマの吸器形成を抑制する 稲葉尚子, 吉田聡子(奈良先端大バイオ)</p>				09:45
<p>2aE05 暗黒誘導性アスコルビン酸分解へのレドックスサイクル制御および老化シグナルの影響 濱田珠志¹, 山本虎次郎², 中山絃一², 丸田隆典^{1,2}(¹鳥根大院・自然科学,²鳥根大・生物資源)</p>	<p>2aF05 環境ストレス応答を担う RALF ペプチドの機能解析 丹羽智子^{1,2}, 後藤綾乃³, 和久久厘那³, 神谷岳洋⁴, 大石俊輔⁵, 水多陽子^{5,6}, 筒井大貴⁷, 三輪京子⁸, 永野惇^{9,10}, 東山哲也¹¹, 木羽隆敏³, 榎原均³, 田畑亮¹(¹明治大・農,²明治大・研究知財,³名古屋大・院・生命農,⁴東京大・院・農生命,⁵名古屋大・WPI-ITbM,⁶名古屋大・高等研究院,⁷OIST,⁸北海道大・院・環境,⁹龍谷大・農,¹⁰慶應大・IAB,¹¹東京大・院・理)</p>	<p>2aG05 重複受精制御に寄与する DMP9 タンパク質の分子機能解析 徐有羅, 吉村有, 井川智子(千葉大・院園芸)</p>	<p>2aH05 ネナシカズラの維管束形成における宿主サーモスベルミンの影響 長尾幸紀¹, 高橋卓¹, 横山隆亮²(¹岡山大・院環境生命自然科学,²東北大・院生命科学)</p>				10:00
<p>2aE06 シロイヌナズナにおけるアスコルビン酸分解産物 L-トロン酸の代謝 山本虎次郎¹, 宮城敦子², 村山秀樹³, 丸田隆典¹(¹鳥根大院・自然科学,²山形大・農学部)</p>	<p>2aF06 シロイヌナズナにおける CLE46 ペプチドシグナリングの機能解析 伊藤樹也¹, 福田裕徳^{2,3}, 遠藤暁詩²(¹京大先端大・院・バイオ環境,²京都先端大・バイオ環境,³秋田県立大)</p>	<p>2aG06 イネ受精卵の核合一過程における転写ダイナミクス 戸田絵梨香^{1,2,3}, 越水静^{4,5,6}, 木下温子², 東山哲也³, 井澤毅¹, 矢野健太郎⁷, 岡本龍史²(¹東大・農学生命,²都立大・理,³東大・理,⁴明治大・農,⁵遺伝研・情報研究系,⁶総研大,⁷ウェルグリーン・アイ(株))</p>	<p>2aH06 ㊦ Spatial and nutritional effects on the <i>Orobanche minor</i> – red clover association Louis Irving (Life Env. Sci, U Tsukuba)</p>				10:15
<p>2aE07 ABA シグナル伝達の制御機構におけるエチレン受容体型センサーヒスチジンキナーゼの役割 宮部マルコス武志¹, 佐々木健人¹, 松村拓樹¹, 鳥山山¹, 竹澤大輔², 四井いずみ¹, 太治輝昭¹, 坂田洋一¹(¹東京農大・院・バイオ,²埼玉大・理工学研究科)</p>	<p>2aF07 環境ストレス応答における CLE ペプチドの役割を探る 下遠野明恵(名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所)</p>	<p>2aG07 イネ卵細胞における自律的発生を制御する誘導性および抑制性因子の機能解析 滝友菜¹, 荻原雪乃¹, Kasidit Rattanawong¹, 澤本陸¹, Valeria Vetencourt^{1,2}, 高崎寛則³, 池田美穂⁴, 大島良美⁵, 貴嶋紗久⁵, 光田隆隆⁵, 高木優^{3,6}, 岡本龍史¹(¹都立大・理,²Life Sci. Eng., HTW Berlin,³埼玉大・理工,⁴福井県立大・生物資源,⁵産総研・生物プロセス,⁶台湾成功大・熱帯植物研)</p>	<p>2aH07 寄生境界面の二次原形質連絡形成における転写制御について 森長豊, 青木考(大阪公立大・院農学)</p>				10:30

㊦ = 発表の言語は英語

● 第2日 3月15日(土) 午前(9:00-12:00)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	発生・形態形成	オルガネラ/細胞骨格	一次代謝
10:45	<p>2aA08 植物種で異なる低温ストレス下における光化学系I光阻害抑制メカニズム 竹内航¹, 播本慎太郎¹, 三宅親弘², 伊福健太郎¹ (1京大院・農, 2神戸大院・農)</p>	<p>2aB08 オーキシン誘導性LBD転写因子群はカルスからのシュート再生を抑制する 間宮章仁¹, 和田昂己¹, 森中初音², 河村彩子², 鳥井孝太郎², 岩瀬哲², 郷達明³, 近藤侑貴^{1,4}, 石崎公庸¹, 杉本慶子², 深城英弘¹ (1神戸大・院・理, 2理研・CSRS, 3奈良先端大・バイオサイエンス, 4大阪大・院・理)</p>	<p>2aC08 ヒメツリガネゴケ NIMA 関連キナーゼは原糸体の先端成長の方向づけを行う 本瀬宏康¹, 針間翔生¹, 中村恵太², 日渡祐二² (1岡山大・理・生物, 2宮城大・食産業学群)</p>	<p>2aD08 GABAを高生産する窒素固定藍藻 <i>Anabaena</i> sp. PCC 7120 の開発 畠中悠希¹, 辻彩花², 加藤悠一³, 近藤昭彦^{1,2,4}, 蓮沼誠久^{1,2,4} (1神戸大・院科学技術イノベーション研究科, 2神戸大学先端バイオ工学研究センター, 3富山県立大学工学研究科, 4理化学研究所 環境資源科学研究センター)</p>
11:00	<p>2aA09 代替的電子伝達経路とキュウリ低温PSI光阻害との関わり 播本慎太郎¹, 竹内航¹, 車玉芬², 伊福健太郎¹ (1京大院・農, 2京大・院生命)</p>	<p>2aB09 一過性のサイトカニン応答極大が肥大成長にむけて両面性維管束幹細胞を完成させる 鳥津登治^{1,2,3}, 米倉崇晃², 古谷朋之^{1,3,4}, 小嶋美紀子⁵, 石崎公庸³, 朝比奈雅志^{6,7}, 伊藤(大橋)恭子², 榎原均⁸, 深城英弘³, 福田裕穂⁹, 近藤侑貴^{1,3} (1大阪大・院・理, 2東京大・院・理, 3神戸大・院・理, 4立命館大・生命, 5理研・CSRS, 6帝京大・理工・バイオ, 7帝京大・先端機器分析センター, 8名古屋大・院・生命農, 9秋田県立大)</p>	<p>2aC09 Kinesin-14はプロスピンドルの形成を促進する 佐々木武彦, 小田洋久 (名古屋大・院理・生命)</p>	<p>2aD09 イネ生葉における細胞内リン酸濃度に応じたmRNA合成量の可逆的変化 高木大輔, 岸江彩 (摂南大学大学院 農学研究科)</p>
細胞周期・分裂				
11:15	<p>2aA10 シロイヌナズナ PIFI は葉緑体NDH複合体活性の制御することでPQプールの酸化還元調節を行う 上妻肇¹, 村井美波¹, 今泉滉¹, 木村文香¹, 吉田啓亮^{2,3}, 車玉芬⁴, 石川規子¹, 久堀徹^{2,5}, 伊福健太郎¹ (1京大院・農, 2東工大・化生研, 3東京科学大・化生研, 4京大院・生命, 5総研大)</p>	<p>2aB10 ㊦ Phytochemical and Molecular Analysis of Natural Growth Substances Producing Plants Asad Jan (IBGE, The University of Agriculture Peshawar, Pakistan)</p>	<p>2aC10 アブジシン酸は細胞増殖が止まった状態でタバコBY-2細胞の寿命を延長する 井上智晴², 福田真希², 松岡健^{1,2} (1九大・院農, 2九大・院生資環)</p>	<p>2aD10 ホウレンソウの低シュウ酸化に寄与する遺伝子の同定 山中温人¹, 市川翔哉¹, 石橋和夫², 佐々木健太郎², 増田悟郎¹, 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹ (1東京農大・バイオ, 2農研機構・生物機能利用研究部門)</p>
11:30	<p>2aA11 光応答性細胞膜プロトン透過機構はシアノバクテリアの代謝系を制御する 町田亮人¹, 越後茜¹, 近藤久益子^{1,2}, 久堀徹^{1,3,4}, 増田真二¹ (1東京科学大・生命理工学院, 2東京科学大・IIR・化学生命研, 3神奈川大・総合理学研, 4総研大)</p>	<p>2aB11 RNA m6A 修飾を介したDNA損傷応答と分裂組織維持の制御機構 松尾亮佑¹, 間宮章仁¹, 岩田健太郎¹, 酒井友希¹, 坂本卓也², 松永幸大³, 近藤侑貴⁴, 石崎公庸¹, 深城英弘¹ (1神戸大・院・理, 2神奈川大・理・理, 3東京大・院・新領域, 4大阪大・院・理)</p>	<p>2aC11 シロイヌナズナのANAC082は核小体ストレスに応答して細胞増殖を制御する 大林祝^{1,2}, 許春瑛¹, 江柏泰^{1,2}, 王珈瑜¹, 宮下貴文³, 佐々木駿⁴, 岩元明敏⁵, 古谷将彦⁶, 尾之内均⁷, 杉山宗隆⁸ (1台湾・国立成功大学・生命科学系, 2台湾・国立成功大学・熱植研, 3神奈川大・院・理・生物科学, 4北海道大・院・農, 5神奈川大・理・生物, 6福岡大・地球圏科学, 7北海道大・農, 8東大・院・理・生物科学)</p>	<p>2aD11 高シュウ酸植物エゾノギンギシの葉におけるシュウ酸合成経路は光量依存的に異なる 宮城敦子¹, 佐久間若菜², 村山秀樹¹ (1山形大・農, 2山形大・院農)</p>
11:45		<p>2aB12 ㊦ CDK inhibitor-mediated regulation of stemness in the <i>Arabidopsis</i> root cap Paktraporn Mekloy, Ye Zhang, Masaaki Umeda (Grad. Sch. Sci. & Tech., NAIIST)</p>	<p>2aC12 気孔発生の適切な終了における新転写制御ネットワークの提案 峯田敬斗¹, 岩川秀和¹, 鈴木孝征², Moussa Benhamed³, 伊藤正樹¹ (1金沢大・院・自然科学, 2中部大・応用生物, 3パリ＝サクレ大学)</p>	

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
環境応答B/環境ストレス	植物ホルモン/シグナル伝達物質	生殖	植物生物間相互作用B				
<p>2aE08 新規膜タンパク質は乾燥ストレス応答でのエキソサイトーシスに関わり、長距離シグナル伝達を制御する 大谷晴香¹, 井上和泰¹, 佐藤蘭子², 豊岡公徳², 鈴木健裕², 堂前直², 高橋史憲³(¹東京理科大・院先進工, ²理研・CSRS, ³東京理科大・先進工)</p> <p>2aE09 新規気孔開口化合物 PP242 は ABA シグナル伝達を抑制する 王愛里¹, 木村隆¹, 井上心平¹, 佐藤大洋¹, 林優紀¹, 佐藤綾人², 高橋洋平^{1,2}, 木下俊則^{1,2}(¹名古屋大・院理学生命, ²名古屋大・ITbM)</p> <p>2aE10 シロイヌナズナの転写因子 SGR5 は気孔閉鎖と形成の双方に関与する 荒井亜加^{1,2}, 木越景子¹, 森脇宏介¹, 宮下京子¹, 中野仁美¹, 藤原すみれ^{1,2}(¹産総研・生物プロセス, ²筑波大・院生物)</p> <p>2aE11 紅葉による光合成活性と周辺温度への影響 滝澤謙二^{1,2,3}(¹アストロバイオロジーセンター, ²基礎生物学研究所, ³総研大)</p> <p>2aE12 ㊦ Super pangenome of <i>Vitis</i> empowers identification of downy mildew resistance genes for grapevine improvement Li Guo¹, Xiangfeng Wang¹, Dilay Hazal Ayhan¹, Mohammad Saidur Rhaman¹, Ming Yan¹, Jianfu Jiang², Dongyue Wang¹, Wei Zheng¹, Junjie Mei¹, Wei Ji¹, Jian Jiao¹, Shaoyin Chen¹, Jie Sun¹, Shu Yi¹, Dian Meng¹, Jing Wang¹, Mohammad Nasim Bhuiyan¹, Guochen Qin¹, Linling Guo¹, Qingxian Yang¹, Xuenan Zhang¹, Haisheng Sun¹, Chonghui Liu², Xing Wang Deng¹, Wenxiu Ye¹(¹Peking University Institute of Advanced Agricultural Sciences, ²Zhengzhou Fruit Research Institute, Chinese Academy of Agricultural Sciences)</p>	<p>2aF08 花粉管細胞の挙動を調節する PRK-ROPGEF シグナリングの分子作用原理 内木希美¹, 岡本奎花¹, 海老根一生^{2,3}, 四方明格^{2,3}, 長江拓也⁴, 水多陽子^{5,6}, 東山哲也⁷, 武内秀憲^{5,6}(¹名大・院・理, ²基生研, ³総研大・先端学術院, ⁴東大・院・農, ⁵名大・ITbM, ⁶名大・高等研, ⁷東大・院・理)</p> <p>2aF09 ㊦ Structural basis for quinones and hydrogen peroxide perception in plants Anuphon Laohavisit¹, Nobuaki Ishihama², Yohta Fukuda³, Yumiko Shirano¹, Kaori Takizawa², Ryoko Hiroyama², Kazuhiro J. Fujimoto⁴, Hiroki Ito⁴, Mayumi Nishimura⁴, Takeshi Yanai¹, Tsuyoshi Inoue³, Ken Shirasu²(¹Institute of Transformative Bio-Molecules (WPI-ITbM), Nagoya University, Japan, ²Plant Immunity Research Group, RIKEN CSRS, Yokohama, Kanagawa, Japan, ³Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Osaka University, Japan, ⁴Technical Center, Nagoya University, Japan)</p>	<p>2aG08 ㊦ Fertilization-independent development and regeneration of rice egg cells induced by a histone deacetylase (HDAC) inhibitor Kasidit Rattanawong¹, Mizuki Wada¹, Kaori Totsuka¹, Iwao Kokubu¹, Shizuka Koshimizu^{2,3}, Kentaro Yano⁴, Ayato Sato⁵, Takashi Okamoto¹(¹Grad. Sch. Sci., Tokyo Metropolitan Univ., ²Dept. Informatics, NIG, ³SOKEIDAI, ⁴WellGreen-i Co. Ltd., ⁵ITbM, Nagoya Univ.)</p> <p>2aG09 胚珠と種子の発達における ERECTA とブラスチステロイドの相互作用 川上直人¹, 今成季世¹, 大沼夏樹¹, 野村千比呂¹, 野村崇人², 中嶋信美³, 田中博和¹(¹明大・農・生命科学, ²宇大・バイオ教育研究センター, ³国立環境研究所)</p> <p>2aG10 シロイヌナズナ胚乳における新規父方インプリント遺伝子 AEGEUS の機能解析 山崎聖翔¹, 和田七夕子¹, 堀孔明¹, 海老原諒子¹, 下保瑠己¹, 山田慧士朗¹, 山口翔¹, 山口京¹, 高山誠司², 伊藤寿朗¹(¹奈良先端大・バイオ, ²東大・農)</p> <p>2aG11 ジャスモン酸を介したトマト着果制御の下流遺伝子の探索 野村悠蓮子¹, 陸宇², 篠崎良仁², 川勝泰二³, 原田圭一郎¹, 矢野亮一⁴, 小嶋美紀子⁵, 竹林裕美子⁵, 榊原均⁶, 江面浩^{2,7}, 有泉亨^{2,7}(¹筑波大院・生命地球科学, ²筑波大・生命環境, ³農研機構・生物研, ⁴農研機構・分析研, ⁵理研・CSRS, ⁶名大院・生命農, ⁷筑波大・T-PIRC)</p> <p>2aG12 受容体様キナーゼをコードするシロイヌナズナ <i>CRK14</i> 遺伝子は global proliferative arrest に関与する 石川諒¹, 今井翔¹, 広澤ひかる¹, 菅原慎吾¹, 石崎千理¹, 樋口真由¹, 松下侑真¹, 鈴木孝政², 望月伸悦³, 長谷あきら³, 上口智治¹(¹名大・院生命農学, ²中部大・応用生物学, ³京大・院理)</p>	<p>2aH08 イネ成長促進細菌は水稻の栄養欠乏適応性を高める 井上加奈子¹, 福本由貴¹, 奥田真理¹, John Jewish Dominguez¹, 村上匠², 西條雄介¹(¹奈良先端大・バイオ, ²東工大)</p> <p>2aH09 栽培種及び野生種トマトに対する根圏細菌スフィンゴビウムの集積特性 高松恭子¹, 中安大¹, 高瀬尚文², 山崎真一^{3,4}, 青木裕一^{4,5}, 小林優⁶, 伊福健太郎⁶, 矢崎一史¹, 杉山暎史¹(¹京大・生存研, ²京大先端大・バイオ環境, ³理研・BRC, ⁴東北大・ToMMO, ⁵東北大・院情報, ⁶京大・院農)</p> <p>2aH10 土壌真菌 <i>Trichoderma atroviride</i> に由来する揮発性分泌物の植物成長抑制機能解析 Allen Yi-Lun Tsai^{1,2}, 合谷業奈香³, Emre Demir Durak⁴, 澤進一郎^{1,2}(¹熊本大・院先端科学研究部, ²熊本大・生物環境農学国際研究センター, ³熊本大・理学部, ⁴Pac. Agril., Van Yüzüncü Yil Univ.)</p> <p>2aH11 ダイズ <i>F3H</i> の機能が根圏細菌叢に与える影響 松村広志郎¹, 松田陽菜子¹, 高松恭子¹, 山崎真一^{2,3}, 高瀬尚文⁴, 藤井義晴⁵, 青木裕一², 櫻井望^{6,7}, 矢崎一史¹, 杉山暎史¹(¹京大・生存研, ²東北大・ToMMO, ³理研・BRC, ⁴京大先端科学大・バイオ環境, ⁵東京農工大・農, ⁶遺伝研, ⁷かずさDNA研)</p> <p>2aH12 ㊦ Resilience of soil bacterial microbiome in two <i>Pinus</i> species with distinct fire-adaptive strategies one to three years after wildfire Yen-Ju Chen¹, Ching-An Chiu³, Chao-Li Huang^{1,2}(¹Institute of Tropical Plant Sciences and Microbiology, National Cheng Kung University, Taiwan, ²Graduate Program in Translational Agricultural Sciences, National Cheng Kung University, Tainan, Taiwan, ³Department of Forestry, National Chung Hsing University, Taichung, Taiwan)</p>	<p>シンポジウムの09 Multi-signal processing mechanisms: how plants simultaneously deal with different stimuli? (9:00-11:50)</p>	<p>シンポジウムの07 Advanced plant-omics in plant sustainability and environmental resilience (9:00-12:00)</p>	<p>シンポジウムS08 原核光合成生物ザ・シンポジウム(9:00-12:00)</p>	<p>10:45</p> <p>11:00</p> <p>11:15</p> <p>11:30</p> <p>11:45</p>

㊦ = 発表の言語は英語

● 第3日 3月16日(日) 午前(9:00-12:00)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	発生・形態形成	環境応答A/生理反応	一次代謝
09:00	3aA01 海洋性珪藻 <i>Phaeodactylum tricornutum</i> における葉緑体 HCO ₃ ⁻ 輸送体候補 PtSLC4-6 および PtSLC4-7 の機能解析 二宮水由羽, 中島健介, Hermanus Nawaly, 辻敬典, 松田祐介(関学大・生命環境・生物科学)	3aB01 3次元力学・幾何学モデルで探る頂端幹細胞に駆動される体制の対称性の多様化 鎌本直也, 藤本仰一(広大・院統合生命)	3aC01 翻訳後修飾を介した LZY3 蛋白質の安定性の制御は根における鋭敏な重力感知に必要である 四方明裕 ^{1,2} , 森祥伍 ¹ , 中村守貴 ¹ , 森田(寺尾)美代 ^{1,2} (¹ 自然科学研究機構・基生研, ² 総研大・先端学術院)	3aD01 ㊦ The role of lysophosphatidic acid acyltransferase 1 in reproductive growth of <i>Arabidopsis thaliana</i> Van Nguyen, Niña Alyssa M Barroga, Yuki Nakamura (RIKEN-CSRS)
09:15	3aA02 海洋性珪藻 <i>Thalassiosira pseudonana</i> のチラコイド型重炭酸輸送体候補の機能解析 山下温大 ¹ , 仁岸みのり ¹ , 天野凌輔 ¹ , 嶋川銀河 ² , 辻敬典 ¹ , 松田祐介 ¹ (¹ 関学大・院生命科学, ² 神戸大・農学研究科)	3aB02 ㊦ <i>HWS</i> Gene Disruption Enlarges Phloem in Tomato Pedicels, Potentially Enhancing Sugar Transport Efficiency Fabien Lombardo ¹ , Tarek El Mestari ² , Oscar Witere Mitalo ³ , Thomas Kirat ² , Muhammad Ijaz Jondah ² , Julie Marsaudon ² , Norbert Bollier ⁴ (¹ Fac. Life Env. Sci., Univ. Tsukuba, ² Grad. Sch. Sci. Tech, Bordeaux Univ., ³ Grad. Sch. Life Env. Sci., Univ. Tsukuba, ⁴ Fruit Bio. Path. Unit, Bordeaux Univ.)	3aC02 根と下胚軸の重力感知と重力屈性におけるアミロプラスト浸透圧調節の役割 東垣温, 田中智佳子, 山崎加奈子, 石崎陽子, 椎名隆(摂南大学農学部)	3aD02 灰色藻では脂肪酸合成が葉緑体ではなく細胞質で行われる 佐藤直樹 ¹ , 池村英里 ² , 植村菜那 ² , 栗井光一郎 ^{2,3,4} (¹ 京大・院・総合文化, ² 静岡大・院・総合科学技術, ³ 静岡大・生物科学, ⁴ 静岡大・電子工学研)
09:30	3aA03 海洋性珪藻 <i>Phaeodactylum tricornutum</i> におけるミトコンドリア・葉緑体辺縁部の代謝調節機構 大澤敦喜 ¹ , 永田和也 ¹ , 嶋川銀河 ² , 辻敬典 ¹ , 松田祐介 ¹ (¹ 関学大・院理工生命, ² 神戸大・応用機能生物学)	3aB03 シロイヌナズナ <i>VAH</i> 遺伝子は幹細胞らしさの抑制に関わる 榎本竜二 ¹ , 池田陽子 ² , 森仁志 ³ , 青柳優太 ⁴ , 平川英樹 ⁵ (¹ 京大・院理・生物, ² 岡山大・資源植物科学研, ³ 名大・院生命農, ⁴ かずさDNA研究所, ⁵ 九大・院農・生命機能)	3aC03 RLD の BRX ドメインを介した多様なタンパク質相互作用 西村岳志 ¹ , 平野良憲 ² , 森田(寺尾)美代 ¹ (¹ 基礎生物学研究所・植物環境応答研究部門, ² 東京大学大学院・薬学研究所)	3aD03 シアノバクテリア <i>Synechococcus elongatus</i> PCC 7942 の代謝改変による遊離脂肪酸生産 古島翼 ¹ , 西本琴羽 ¹ , 神保晴彦 ¹ , 山本哲史 ² , 門脇太郎 ¹ , 高谷信之 ³ , 愛知真木子 ³ , 池田和貴 ⁴ , 小俣達男 ³ , 西山佳孝 ¹ (¹ 埼玉大院・理工, ² 大成建設, ³ 中部大・応用生物, ⁴ かずさDNA研究所)
09:45	3aA04 CAM 植物において CO ₂ 除去がクロロフィル蛍光に与える影響の解析 小林康二 ¹ , 戸次咲恵 ¹ , 野上規子 ¹ , 末次健司 ² (¹ 阪大・院理学, ² 神戸大・院理学)	3aB04 ㊦ Actin Isovariant ACT2-Mediated Cellular Auxin Homeostasis Regulates Lateral Root Organogenesis in <i>Arabidopsis thaliana</i> Aya Hanzawa ¹ , Arifa Ahamed Rahman ¹ , Abidur Rahman ^{1,2} (¹ The United Graduate School of Agricultural Sciences, Iwate University, Japan, ² Department of Plant Biosciences, Faculty of Agriculture, Iwate University, Morioka, Japan)	3aC04 植物の器官運動におけるストレートニング機構の役割 津川暁 ¹ , 高井晴加 ² , 岡村さとこ ³ , 八木宏樹 ³ , 三宅唯月 ¹ , 豊倉浩一 ⁴ , 西村いくこ ³ , 上田晴子 ^{2,3} (¹ 秋田県大・システム, ² 甲南大・理工, ³ 甲南大・院自然科学, ⁴ 広島大・院統合生命)	3aD04 <i>Nannochloropsis oceanica</i> NIES-2145 における光化学系遺伝子の発現増強と油脂蓄積の相関関係 高嶋樹 ¹ , 岩井雅子 ² , 岡崎久美子 ³ , 櫻井望 ⁴ , 長谷川嘉則 ¹ , 坂本敦 ³ , 太田啓之 ^{1,2,4} , 下嶋美恵 ¹ (¹ 京科学大・生命理工学院, ² ファイトリビット・テクノロジーズ, ³ 広島大・院統合生命, ⁴ かずさDNA研究所)
10:00	3aA05 <i>Synechococcus elongatus</i> PCC 7942 における低温環境下で CCM の活性調節に関与するガラクトリパーゼ 高谷信之 ¹ , 谷口航太 ² , 妹尾勇弥 ³ , 池田和貴 ³ , 小俣達男 ¹ , 愛知真木子 ¹ (¹ 中部大・応用生物, ² 中部大・院・応用生物, ³ かずさDNA研・ゲノム事業)	3aB05 <i>SPIKE1</i> による細胞分裂方向制御の分子機構の解析 豊倉浩一 ¹ , 鎌本直也 ¹ , 藤本仰一 ¹ , 小田祥久 ² , 柿本辰男 ³ , 上田晴子 ⁴ , Yrjo Helariutta ⁵ , 草場信 ¹ (¹ 広島大・院統合生命, ² 名古屋大・院理, ³ 大阪大・院理, ⁴ 甲南大・理工, ⁵ ヘルシンキ大)	3aC05 カルシウムイメージングを用いた緑の香り感受性変異体の解析 寺島千絵子 ¹ , 上村卓也 ² , 立澤駿之介 ³ , 荒谷優里 ¹ , 豊田正嗣 ¹ (¹ 埼玉大・院・理工, ² 東京理科大・生命システム工, ³ 埼玉大・理)	3aD05 ペチュニアの花香生成に関わるベンズアルデヒド脱水素酵素の機能解析 肥塚崇男 ¹ , 伊東花梨 ¹ , 小崎紳一 ¹ , 植智知彦 ² , 北高俊紀 ³ (¹ 山口大・院創成科学, ² 京大・化研, ³ 京工繊大・応用生物)
10:15	3aA06 光条件によって誘導される NADP ブールの変動が NAD キャップ RNA 動態に及ぼす影響 橋田慎之介 ¹ , 青柳優太 ² , 平川英樹 ³ , 豊田敦 ⁴ , 川合真紀 ⁵ (¹ 電中研・生物環境, ² かずさDNA研・先端, ³ 九大・院・農, ⁴ 遺伝研・先端ゲノミクス, ⁵ 埼玉大・院・理工)	3aB06 根での内外的傷害の初動対処となる新規傷害防御戦略“Cells Lock” 間瀬皓介 ¹ , 水野帆乃美 ¹ , 中村圭吾 ¹ , 富田幸希 ¹ , 古川七梨 ¹ , 上野志歩 ¹ , 鈴木孝征 ² , 稲垣宗一 ³ , 森上敦 ¹ , 塚越啓央 ¹ (¹ 名城大・農, ² 中部大・応生, ³ 東大・院理学)	3aC06 長距離カルシウムシグナルの三次元解析技術の開発 須田啓 ¹ , 萩原拓真 ¹ , 浅川裕紀 ¹ , 豊田正嗣 ^{1,2,3} (¹ 埼玉大・院・理工, ² SunRiSE・サントリー生命科学財団, ³ 華中農大・植物科学技術学院)	3aD06 セリ科植物アシタバにおける三環性クマリン類生合成を担うシクロム P450 酵素遺伝子の同定 新屋和花 ¹ , 韓俊文 ¹ , 三浦謙治 ² , 谷口雅彦 ³ , 杉山暁史 ¹ , 矢崎一史 ¹ , 棟方涼介 ¹ (¹ 京大・生存研, ² 筑波大・生命環境系, ³ 大阪医薬大・薬)
10:30	3aA07 水陸両生植物 <i>Hygrophila difformis</i> における水没時の光合成電子伝達系制御の解析 堀口元気 ¹ , 野口航(東京薬科大・生命科学)	3aB07 膜輸送因子 PATROL1 の機能欠損変異体における根の伸長阻害には ROS が関与している 大館若菜, 橋原均, 橋本美海(名大・生命農)	3aC07 接触刺激により過剰なカルシウムシグナルが観察される新規変異体の解析 福井大良 ¹ , 上村卓矢 ² , 浅川裕紀 ³ , 豊田正嗣 ^{3,4,5} (¹ 埼玉大・理, ² 東京理科大・生命システム工, ³ 埼玉大・院・理工, ⁴ SunRiSE・サントリー生命科学財団, ⁵ 華中農大・植物科学技術学院)	3aD07 ブナ科植物におけるイソプレネン放出能の種間多様性の分子機構 小坂青空 ¹ , 棟方涼介 ¹ , 福島健児 ² , 永野惇 ^{3,4} , 齊藤拓也 ⁵ , 池崎由佳 ⁶ , 佐竹暁子 ⁶ , 三浦謙治 ⁷ , 杉山暁史 ¹ , 矢崎一史 ¹ (¹ 京大・生存研, ² 遺伝研NIG, ³ 龍谷大・農学, ⁴ 慶應大・先端生命研, ⁵ 国環研NIES, ⁶ 九州大・理学, ⁷ 筑波大・生命環境)

特化(二次)代謝

E会場	F会場	G会場	H会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
環境応答B/環境ストレス	植物ホルモン/シグナル伝達物質	新技術開発	植物生物間相互作用B				
<p>3aE01 シロイヌナズナ短期高温ストレス耐性の遺伝学的解析 柳原美来¹, 高橋弥子¹, 鈴木孝征², 栞冨淳太郎³, 小畑智暉³, 四井いずみ⁴, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹(¹東京農大・バイオ,²中部大・応用生命科学,³九大・理学)</p>	<p>3aF01 DOG1 依存的な ABA 情報伝達経路の解析 西村宜之¹, 土屋渉², 矢野亮一², 鈴木菜穂美¹, 平山隆志³, 山崎俊正²(¹農研機構・生物研,²農研機構・分析研,³岡山大・資源研)</p>	<p>3aG01 コムギ無細胞タンパク質合成系を基盤としたスクリーニングによるアサガオの花の老化を抑制する化合物の単離 野澤彰¹, 渋谷健市², 澤崎達也¹(¹愛媛大・PROS,²農研機構)</p>	<p>3aH01 ミヤコグサと <i>Rhizobium</i> 属根粒菌との根粒形成過程における初期相互作用 川原田泰之^{1,2,3}, 佐々木栄央², 千葉悠平³, 林桃子¹(¹岩手大・農学,²岩手大・総合科学,³岩手大・連合農学)</p>				09:00
<p>3aE02 長期高温耐性を示すシロイヌナズナ Berg-1 の高温耐性メカニズム解析 北島あすみ, 増田悟郎, 四井いずみ, 坂田洋一, 太治輝昭(東京農大・バイオ)</p>	<p>3aF02 ㊦ The cytokinin biosynthesis gene, IPT3, plays a key role in plant growth acclimation to a fluctuating nitrate environment Fanny Bellegarde^{1,2}, Takatoshi Kiba¹, Hitoshi Sakakibara^{1,3}(¹Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University, ²Institute for Advanced Research, Nagoya University, ³RIKEN Center for Sustainable Resource Science, Tsurumi, Yokohama)</p>	<p>3aG02 改良型 TiD (TiD-X) を用いたイネゲノム編集技術の確立 室本翔太¹, 阿江祐迪², 丸井和也², 川口晃平¹, 和田直樹², 刑部敬史², 刑部祐里子¹(¹東京科学大・生命理工,²徳島大・大学院社会産業理工)</p>	<p>3aH02 根粒菌の窒素固定レベルに応じた細胞内共生制御機構の解析 嵐田達^{1,2}, 中川知己², 橋本駿¹, 佐伯和彦², 川口正代司², 佐藤修正¹(¹東北大院・生命,²基礎生物学研究所)</p>				09:15
<p>3aE03 シロイヌナズナ長期高温感受性変異株 <i>sloh7</i> の解析 野菅梨々香¹, 細井昂人², 鈴木孝征³, 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹(¹東京農大・バイオ,²東京農大・ゲノムセンター,³中部大・応生)</p>	<p>3aF03 サイトカイニン受容体 AHK3 はサイトカイニンの長距離輸送を調節する 門田宏太¹, 鈴木孝征², 小嶋美紀子³, 竹林裕美子³, 木羽隆敏^{3,4}, 榎原均^{3,4}, 中川強⁵, 峰谷卓士⁵(¹鳥根大・院自然科学,²中部大・院応用生物学,³理研・CSRS,⁴名古屋大・院生命農学,⁵鳥根大・総科センター)</p>	<p>3aG03 TiD-X を用いたシロイヌナズナ <i>NCED3</i> 遺伝子発現制御ツールの構築 後藤空吾¹, 城所聡¹, 古田忠臣¹, 和田直樹², 刑部敬史², 刑部祐里子¹(¹東京科学大・生命理工,²徳島大院・社会産業理工)</p>	<p>3aH03 ㊦ Functional regulation of CYCLOPS is a key to the efficient dual symbiosis Akihiro Yamazaki¹, Akira Akamatsu^{1,2}, Naoya Takeda², Akira Miyahara³, Miwa Nagae³, Yosuke Umehara³, Makoto Hayashi¹(¹CSRS, RIKEN, ²Sch. Biol. Env. Sci., KGU, ³NIAS)</p>				09:30
<p>3aE04 シロイヌナズナ長期高温感受性変異株 <i>sloh2</i> の遺伝学的解析 芳野晴臣¹, 山口凌¹, 細井昂人², 鈴木孝征³, 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹(¹東京農大・バイオ,²東京農大・ゲノムセンター,³中部大・応生)</p>	<p>3aF04 <i>fas</i> オペロンが作り出すサイトカイニン様化合物の作用機序の解析 吉野実花¹, Surjana Alicia¹, 小嶋美紀子², 幸木謙典¹, 西川俊夫¹, 榎原均^{1,2}(¹名古屋大・院生命農,²理研CSRS)</p>	<p>3aG04 変異体の表現系を用いた代理スクリーニング法による遺伝子ターゲットインクの効率的な確立 三木大介(中国科学院)</p>	<p>3aH04 NIN 転写因子の分子的特徴とその進化基盤の解明 野田桃葉¹, 野崎翔平^{1,2}, 小野田浩宣³, 伊藤百代¹, 壽崎拓哉^{1,2}(¹筑波大・生命環境,²筑波大・T-PIRC,³名古屋大・NUSR)</p>				09:45
<p>3aE05 シロイヌナズナ長期高温感受性変異株 <i>sloh29</i> の解析 川上慧¹, 細井昂人², 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹(¹東京農大・バイオ,²東京農大・ゲノムセンター)</p>	<p>3aF05 糖転移酵素 OsSPY によるイネ DELLA タンパク質 SLR1 の機能調節機構の解析 吉田英樹, 西尾俊亮, 松岡信(福島大・発酵研)</p>	<p>3aG05 ゲノム編集を活用した致死性変異を生じる遺伝子の生存可能な hypomorphic mutant allele の作出 吉村美香, 石田喬志(熊本大・院・先端科学)</p>	<p>3aH05 ㊦ Rhizobial infection-specific accumulation of phosphatidylinositol 4,5-bisphosphate inhibits the excessive infection of rhizobia in <i>Lotus japonicus</i> Akira Akamatsu^{1,2}, Toshiki Ishikawa³, Hiroto Tanaka², Yoji Kawano⁴, Makoto Hayashi¹, Naoya Takeda²(¹RIKEN CSRS, ²Grad. Sch. of Bio. and Env. Sci. Kwansai gakuin Univ., ³Fac. of Sci. and Tech. Saitama Univ., ⁴Okayama Univ. IPSR)</p>				10:00
<p>3aE06 MKK3-MAPK カスケードは温度と後熟シグナルを統合することにより、種子発芽を調節する 大谷真彦¹, 東城僚¹, Sarah Regnard², 鄭李鵬¹, 市村和也³, Jean Colcombet², 川上直人¹(¹明治大・農,²パリ・サクレー植物科学研究所,³香川大・農)</p>	<p>3aF06 岩類ゼニゴケにおいて生理活性を示すジベレリン類縁化合物の生合成経路の解明 岡部麻衣子¹, 孫芮^{1,3}, 嶋田樹香¹, 吉竹良洋^{1,2}, 釜田陽光², 川村昇吾¹, 鈴木かおり¹, 下川瑛太¹, 安居佑季子^{1,2}, 山岡高平², 林謙吾³, 石田俊晃³, 増口潔³, 山口信次郎³, 河内孝之^{1,2}(¹京大・院生命科学,²京大・農,³京大・化学研究所)</p>	<p>3aG06 ゲノム編集によるメロンの高付加価値化 浦野薫¹, 佐々木健太郎¹, 耳田直純², 野中聡子³, 江面浩³, 今井亮三¹(¹農研機構・生物機能利用研究部門,²サナテックライフサイエンス(株),³筑波大・生命環境系)</p>	<p>3aH06 ミヤコグサ根粒共生における周期的サイトカイニン応答の制御機構の解明 征矢野敬^{1,2}, 川口正代司^{1,2}(¹基生研,²総研大)</p>				10:15
<p>3aE07 熱形態形成に寄与するロングコイルドコイルタンパク質 PICL は、温度依存的な複合体形成を行う 松本崇社, 古本強(龍谷大学院・農学部)</p>	<p>3aF07 シロイヌナズナの茎伸長を司る植物ホルモンの時空間的解析 ① 松本皇佑¹, 水嶋滯¹, 小嶋美紀子², 竹林裕美子², 榎原均^{1,2}, 永野惇³, 深澤壽太郎⁴, 黒谷賢一⁵, 野田口理季^{5,6}, 水谷未耶⁷, 打田直行⁸, 高木紘⁹, 芦荻基行⁵(¹名古屋大・院生命農,²理化学研究所・CSRS,³龍谷大・農,⁴広島大・統合生命,⁵名古屋大・生物機能開発利用研究センター,⁶京都大・理,⁷奈良先端科学技術大学院大・先端科学技術研究科,⁸名古屋大・遺,⁹名古屋大・理)</p>	<p>3aG07 葉緑体・ミトコンドリアゲノム特異的なランダム変異導入技術および変異体の単離 小坂七海¹, 原田佳樹¹, 中里一星¹, 奥野未來², 伊藤武彦³, 堤伸浩¹, 有村慎一¹(¹東京大・院農学生命科学,²久留米大医,³東京科学大・院生命理工)</p>	<p>3aH07 シュートに滴下したスベルミンによるミヤコグサの根粒菌感染感受性の抑制 岡本滯¹, 川出健介²(¹埼玉大・理,²埼玉大・院・理工)</p>				10:30

シンポジウムS09 集光性アンテナ複合体研究の特異点 (9:00-12:00)

シンポジウムS10 Spatial sensing, design, production control and functional analysis of plant molecules (9:00-12:00)

㊦ = 発表の言語は英語

● 第3日 3月16日(日) 午前(9:00-12:00)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場
	光合成	発生・形態形成	環境応答A/生理反応	特化(二次)代謝
10:45	<p>3aA08 長期にわたる暗所従属栄養条件での継代培養で単離されたシアノバクテリア暗所適応株のゲノム解析 植沼恒照¹, 上坂一馬², 馬場真里², 山本治樹^{1,2}, 高市真一³, 井原邦夫⁴, 藤田祐一^{1,2}(¹名古屋大学農学部応用生命科学科, ²名古屋大学大学院生命農学研究科, ³東京農業大学・分子微生物, ⁴名古屋大学遺伝子実験施設)</p>	<p>3aB08 MYB型転写因子が制御する側根原基発達システム 植村優太¹, 鈴木孝征², 森上敦¹, 塚越啓央¹(¹名城大・院農, ²中部大・応用生物)</p>	<p>3aC08 食虫植物モウセンゴケ触毛の活動電位とカルシウム波の電気生理学的解析 瀬上紹嗣^{1,2}, Peng Chen², 松田陸功³, 杉本渚⁴, 大井祥子¹, 須田啓⁵, 佐藤良勝⁴, 豊田正嗣⁵, 長谷部光泰^{1,2}(¹基生研, ²総研大・基礎生物, ³名古屋大・院理学, ⁴名古屋大・ITbM, ⁵埼玉大・院理工学)</p>	<p>3aD08 ㊦ Molecular evolution of the UbiA prenyltransferase family in citrus Tamara Klett¹, Shuhei Matsushita¹, Takashi Akagi², Tetsuya Matsukawa^{3,4}, Alain Hehn⁵, Akifumi Sugiyama¹, Kazufumi Yazaki¹, Ryosuke Munakata¹(¹RISH, Kyoto Univ., ²Nihon BioData, ³The Exp Farm, Kindai Univ., ⁴BOST, Kindai Univ., ⁵Univeristé de Lorraine-INRAe)</p>
11:00	<p>3aA09 エチオプラストにおけるホスファチジルグリセロール完全欠損の影響 川向真翔¹, 吉原晶子², 小林啓子³, 永田典子³, 藤井祥⁴, 小林康一⁵(¹大阪府大・理学, ²大阪公大・院理学, ³日本女子大・理学, ⁴弘前大・農学, ⁵大阪公立大・理学)</p>	<p>3aB09 【演題取り下げ】</p>	<p>3aC09 ハエトリソウの捕虫葉の形態形成におけるAS2遺伝子の役割 浅川裕弘¹, 須田啓^{2,3}, 瀬上紹嗣^{2,3}, 長谷部光泰^{2,3}, 豊田正嗣^{1,4,5}(¹埼玉大・院・理工, ²基生研・生物進化, ³総研大・院・生命科学, ⁴SunRISE・サントリー生命科学財団, ⁵华中農大・植物科学技術学院)</p>	<p>3aD09 オウレンのヤトロロジン生合成に関わる新規ジオキシゲナーゼの発見 高松編花¹, 河西俊介¹, 杉山龍介^{1,2,5}, 小関雄太³, 山田泰之^{3,4}, 山崎真巳^{1,5}(¹千葉大院薬, ²JSTさきがけ, ³ソムラ, ⁴神戸薬大, ⁵千葉大植物分子科学セ)</p>
11:15	<p>3aA10 CP12-3/GAPDH/AspAT5の三者複合体形成の解明 中野皓種, 竹内彩里, 平井星佳, 岡航平, 古本強(龍谷大・農学)</p>	<p>3aB10 重力刺激の方向に応じた根の屈曲角度の調節機構の解析 郷達明¹, 笠谷光流¹, 津川暁², 相馬優輝¹, 米倉崇晃³, 中島敬二¹(¹奈良先端大・バイオサイエンス, ²秋田県立大・システム科学技術, ³東大・院理)</p>	<p>3aC10 光によるワカメ配偶体の伸長方向と葉緑体定位運動の制御 吉川伸哉¹, 加藤伊枝里¹, 日山津奈美¹, 長里千香子²(¹福井県大・海洋, ²北大・北方セ)</p>	<p>3aD10 グレープフルーツの器官別トランスクリプトーム解析により見出されたクマリン代謝関連酸化酵素の機能解析 市川公康¹, 松下修平¹, 新屋和花¹, 松川哲也^{2,3}, 三浦謙治⁴, 杉山暁史¹, 矢崎一史¹, 棟方涼介¹(¹京都大・生存研, ²近大・附属農場, ³近大・生物理工, ⁴筑波大・生命環境系)</p>
11:30	<p>3aB11 根毛における細胞極性の確立に関わるシロイヌナズナ PIP5K 遺伝子の機能解析 加藤真理子¹, 豆真智子^{1,2}, 柘植知彦¹, 青山卓史¹(¹京大・化研, ²シンガポール国立大学)</p>	<p>3aC11 照射時間によって変化するシロイヌナズナ葉柄運動の X 線 CT 解析 林真衣香¹, 園田倅生¹, 國枝正^{1,2}, 春田牧人³, 大竹義人⁴, 加藤博一⁴, 鳥弘幸⁵, 出村拓^{1,2}(¹奈良先端大・バイオ, ²奈良先端大・CDG, ³千歳科技大・理工, ⁴奈良先端大・情報, ⁵山梨大・生命環境)</p>	<p>3aC12 光に応答した気孔開口に関与する Raf 様キナーゼ VIK の機能解析 植原拓¹, 水谷未耶², 林真妃³, 松林嘉克¹, 木下俊則^{1,4}(¹名古屋大・院理, ²奈良先端大・バイオ, ³東北大・院生命科学, ⁴名古屋大・WPI-ITbM)</p>	<p>3aD11 柑橘分泌腔への脂溶性二次代謝産物の隔離に関与する遺伝子の探索 釜田陽光¹, 松下修平¹, 市川公康¹, 窪井健斗¹, 松川哲也^{2,3}, 三浦謙治⁴, 飛松裕基¹, 矢崎一史¹, 杉山暁史¹, 棟方涼介¹(¹京都大・生存研, ²近大・附属農場, ³近大・生物理工, ⁴筑波大・生命環境系)</p>
11:45				<p>3aD12 クス(葛)が産生する特化代謝物の器官特異的な産生機構の解析 Huang Zhixuan, 小牧伸一郎, 渡邊むつみ, 峠隆之(奈良先端科学技術大学院大学)</p>

E会場	F会場	G会場	H会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
環境応答B/環境ストレス	植物ホルモン/シグナル伝達物質	新技術開発	植物生物間相互作用B				
<p>3aE08 シロイヌナズナにおける高温不感受変異体 ACC3 の解明 姓元亜¹, 竹内鈴², 多嘉良涼², 古本強² (1) 龍谷大・院農学部, 2) 龍谷大・農学部)</p>	<p>3aF08 シロイヌナズナの茎伸長を司る植物ホルモンの時空間的解析 ② 水嶋澄¹, 松本卓佑¹, 小嶋美紀子², 竹林裕美子², 榎原均^{1,2}, 永野惇³, 深澤壽太郎⁴, 黒谷賢一⁵, 野田口理孝^{5,6}, 水谷未耶⁷, 打田直行⁸, 芦刈基行⁹ (1) 名古屋大・院生命農, 2) 理化学研究所・CSRS, 3) 龍谷大・農, 4) 広島大・統合生命, 5) 名古屋大・生物機能開発利用研究センター, 6) 京都大・理, 7) 奈良先端科学技術大学院大・先端科学技術研究科, 8) 名古屋大・遺, 9) 名古屋大・理)</p>	<p>3aG08 ペプチド法を介した FT mRNA 送達によるシロイヌナズナ開花促進 小田原真樹^{1,2}, 森真愛¹, 石尾将吾³, 古川原聡³, 沼田圭司^{1,2} (1) 理研・CSRS, 2) 京大・院工学, 3) 住友林業・筑波研究所)</p>	<p>3aH08 ミヤコグサ AON 欠損変異体における葉の発生についての解析 田川友理¹, 川出健介² (1) 埼玉大・理, 2) 埼玉大・院・理工)</p>	X会場	Y会場	Z会場	10:45
<p>3aE09 植物プロゲステロンと受容体候補 AmPR の高温環境下における分子機構の解明 衣笠有夏¹, 山上あゆみ¹, 大坊りら¹, 上林綾加^{2,3}, 嶋田勢津子², 飯野真由美², 野村崇人⁴, 作田正明³, 浅見忠男⁵, 横田孝雄⁶, 中野雄司¹ (1) 京大院・生命, 2) 理研・CSRS, 3) お茶大院・創成科学, 4) 宇都宮大・バイオ, 5) 東大院・農, 6) 帝京大・バイオ)</p>	<p>3aF09 シロイヌナズナの SA/JA 濃度-組み合わせ依存的応答の解析と SA/JA 特異的トランスクリプトームマーカーの開発 富田敦隆^{1,2}, 前田太郎^{2,3}, 森山奈津美³, 野村康之³, 栗田悠子⁴, 鹿島誠⁵, 別役重之⁶, 永野惇^{2,6} (1) 慶應大・政, 2) 慶應大・IAB, 3) 龍谷大・食農研, 4) 東大・農, 5) 東邦大・理, 6) 龍谷大・農)</p>	<p>3aG09 SSBD: バイオイメージングデータのグローバルな共有 京田耕司¹, 糸賀裕弥¹, 山縣友紀^{2,3}, 藤澤絵美¹, ミランダ ミケル¹, 山本春菜¹, 菅原皓¹, 遠里由佳子^{1,4}, 大浪修一^{1,2} (1) 理化学研究所生命機能科学研究センター, 2) 理化学研究所情報統合本部, 3) 理化学研究所バイオリソース研究センター, 4) 立命館大学)</p>	<p>3aH09 ミヤコグサ根粒過剰着生株における葉の代謝ダイナミクス 崖春香¹, 川出健介² (1) 埼玉大・理, 2) 埼玉大・院・理工)</p>				X会場
<p>3aE10 シロイヌナズナ 9-LOX/AOS 過剰発現株を用いた高温ストレス耐性の解析 下嶋美恵¹, 川東真理子¹, 若松孝幸¹, 太田啓之¹, 迫田和馬², 櫻井敦², 今村社輔² (1) 科学大・生命理工院, 2) NTT宇宙環境エネルギー研究所)</p>	<p>3aF10 シロイヌナズナ CYP78A は非細胞自律的に葉老化を制御する 信澤岳, 藤田綾音, 草場信 (広島大・院統合生命)</p>	<p>3aG10 植物健康モニタリングに向けた葉面貼付型の透明超薄膜生体電極の開発 堀祐輔, 堀井辰衛, 増田真二, 藤枝俊宣 (東京科学大学生命理工)</p>	<p>3aH10 アーバスキュラー菌根菌での宿主植物を用いない一過的遺伝子発現抑制 Yidan Fu, Zijie Li, 亀岡啓 (中国科学院・植物科学卓越创新中心)</p>	X会場	Y会場	Z会場	
<p>3aE11 イネの転写因子 OsHsf1A1a の熱ショック応答における機能の解析 田中樹¹, 莫嘉隼¹, 野口萌子¹, 大濱直彦¹, 戸高大輔¹, 細井昂人², 太治輝昭², 篠崎一雄⁴, 篠崎和子^{1,5}, 溝井順哉¹ (1) 東大院・農学生命科学, 2) 東京農大・生物資源ゲノム解析セ, 3) 東京農大・生命科学, 4) 理研 CSRS, 5) 東京農大・農生命科学研)</p>	<p>3aF11 シロイヌナズナ CYP78A は非細胞自律的に葉老化を制御する 信澤岳, 藤田綾音, 草場信 (広島大・院統合生命)</p>	<p>3aG11 植物健康モニタリングに向けた葉面貼付型の透明超薄膜生体電極の開発 堀祐輔, 堀井辰衛, 増田真二, 藤枝俊宣 (東京科学大学生命理工)</p>	<p>3aH11 花の蜜腺に生息する細菌が引き起こす花粉管破裂メカニズム 加藤義宣^{1,2}, 三浦大樹¹, 高山誠司¹, 藤井壮太^{1,3} (1) 東大・院農学生命科学, 2) JST さきがけ, 3) サントリー SunRiSE)</p>				X会場
<p>3aE12 気温低下に応答した時計転写因子 CCA1 および LHY の分解制御の解析 城所聡¹, 大川直輝², 高橋史憲^{3,4}, 溝井順哉², 刑部祐里子¹, 篠崎一雄⁴, 篠崎和子^{2,5} (1) 東京科学大・生命理工, 2) 東大院・農学生命科学, 3) 東京理科大・先進工学, 4) 理研・環境資源科学研究セ, 5) 東京農大・農生命科学研)</p>	<p>3aF12 シロイヌナズナ CYP78A は非細胞自律的に葉老化を制御する 信澤岳, 藤田綾音, 草場信 (広島大・院統合生命)</p>	<p>3aG12 植物健康モニタリングに向けた葉面貼付型の透明超薄膜生体電極の開発 堀祐輔, 堀井辰衛, 増田真二, 藤枝俊宣 (東京科学大学生命理工)</p>	<p>3aH12 サンゴ白化のデュアルモード: 高温ストレスは共生藻の光合成および宿主による藻類の消化を抑制する 嶋川銀河^{1,2}, 青山華子^{3,4}, 高木俊幸³ (1) 神戸大・院農, 2) 阪大・太陽C, 3) 東大・大海研, 4) 東大・院新領域)</p>	X会場	Y会場	Z会場	

E = 発表の言語は英語

● 第3日 3月16日(日) 午後(13:30-16:30)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	発生・形態形成	環境応答A/生理反応	特化(二次)代謝
13:30	<p>3pA01 ポリスルフィドがシロイヌナズナの光形態形成におよぼす影響の解析 松井響愛¹, 笠松真吾², 居原秀², 増田建³, 清水隆之¹(¹奈良女子大・理・生物科学, ²大阪公立大・院理学, ³東大・院・総合文化)</p>	<p>3pB01 <i>FAMA</i> の過剰発現による異所的なミロシン細胞の分化にはどのような空間情報が必要か? 中西辰慶¹, 郷達明^{1,2}, 中島敬二¹, 白川一^{1,2}, 伊藤寿朗¹(¹奈良先端科学技術大学院大学・先端科学技術研究科, ²国立研究開発法人・科学技術推進機構・さきがけ)</p>	<p>3pC01 シロイヌナズナにおける風化促進による生育促進に寄与する制御ネットワークの機能解析 上田実^{1,2}, 戸高大輔¹, 田中真帆^{1,2}, 高橋聡史^{1,2}, 石田順子^{1,2}, 池田時浩³, 鈴木忠子⁴, 三輪美沙子⁵, 松山成男⁶, 永野博^{6,7}, 菊野日出彦⁸, 関原明^{1,2,9,10}(¹理研・CSRS, ²理研・CPR, ³理研・RNC, ⁴理研・CEMS, ⁵東北大・院・工, ⁶龍谷大・農, ⁷慶徳大・IAB, ⁸東京農大・宮古亜熱帯農場, ⁹横浜市大・木原生研, ¹⁰埼玉大・院・理工)</p>	<p>3pD01 イメージング質量分析法によるシロイヌナズナ植物特化代謝物の空間分布の可視化 森哲哉, 武田紀子, 西沢具子, 豊岡公德, 平井優美(理研・CSRS)</p>
13:45	<p>3pA02 ㊦ Analysis of transcriptional regulatory mechanisms in response to polysulfide and reactive oxygen species utilizing purple photosynthetic bacteria Shuxian Wang¹, Yosuke Seto², Yutaro Kumagai³, Masaru Hashimoto⁴, Shintaro Maeno⁵, Yasuhiro Gotoh⁶, Tetsuya Hayashi⁷, Tatsuru Masuda⁸, Takayuki Shimizu¹(¹Faculty of Science, Nara Women's University, ²Division of Experimental Chemotherapy, Cancer Chemotherapy Center, ³Department of Life Science and Biotechnology, National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, ⁴Faculty of Agriculture, The University of Tokyo, ⁵Advanced Genomics Center, National Institute of Genetics, ⁶Advanced Genomics Center, National Institute of Genetics, ⁷Graduate School of Medical Sciences, Kyusyu University, ⁸Graduate School of Arts and Sciences, The University of Tokyo)</p>	<p>3pB02 ㊦ Tissue-specific TSS shift of <i>APL</i> regulates phloem development in <i>Arabidopsis</i> Hiroshi Takagi^{1,2}, Shunji Shimadzu³, Kazumasa Shirai⁴, Kousuke Hanada⁴, Tomonao Matsushita⁵, Masahide Seki⁶, Yuki Kondo³, Takato Imaizumi¹(¹Dep. Biol., Univ. Washington, ²CGR, Nagoya Univ., ³Grad. Sch. Sci., Osaka Univ., ⁴Dep. Biosci. Bioinform. Kyutech, ⁵Grad. Sch. Sci., Kyoto Univ., ⁶Grad. Sch. Front. Sci., Tokyo Univ.)</p>	<p>3pC02 シロイヌナズナの微小組織における Micro-PIXE イメージングによる元素分布の検討 内山剛志, 三輪美沙子, 中妻愛友美, 遠山翔, 小林俊介, 加田渉, 松山成男, タスジャヤ エレン, 辻井雅, 石丸泰寛, 魚住信之(東北大・院工)</p>	<p>3pD02 安定同位体「逆」ラベル法によるアブラナ科植物の硫黄特化代謝解析 杉山龍介^{1,2,3,4}, 桑原亜由子⁴, 平井優美⁴, 山崎真巳^{1,2}(¹千葉大院薬, ²千葉大植物分子科学セ, ³JST さきがけ, ⁴理研CSRS)</p>
14:00	<p>3pA03 異なる DGAT2 様遺伝子セットを保持するシアノバクテリア 6 種における中性脂質の蓄積 谷川梨瑠¹, 坂口浩菜², 神保晴彦¹, 石川寿樹¹, 原由香子¹(¹埼玉大院・理工, ²埼玉大・理)</p>	<p>3pB03 ㊦ Decoding the Dynamics of Development: Genetic and Environmental Interplay in Tissue Morphogenesis Joshua Ikechukwu Egede (ALFA UNIVERSITY COLLEGE)</p>	<p>3pC03 ㊦ Mutation of a Ribosomal Protein (UL13X) Mediated Root Growth Defects under Calcium Deficiency in <i>Arabidopsis thaliana</i> Yicong Chen¹, Arpna Kumari¹, Hirofumi Fukuda¹, Naoyuki Sotta^{1,2}, Dichao Ma¹, Toru Fujiwara¹(¹Graduate School of Agricultural and Life Science, The University of Tokyo, ²Graduate School of Agriculture, Osaka Metropolitan University)</p>	<p>3pD03 リガンド結合型蛍光タンパク質を利用したフラビンモノヌクレオチドのライブセルイメージング 市川晋太郎^{1,2}, 三浦謙治³, 児玉豊^{1,2}(¹宇都宮大・バイオセンター, ²宇都宮大院・地域創生, ³筑波大・生命環境)</p>
14:15	<p>3pA04 シアノバクテリアにおける強光順化応答に働く非典型的なパートナースイッチング制御系の分子機構解明 中村陸攻¹, 濱田雅子², 広瀬侑², 原由香子¹(¹埼玉大・院理工, ²豊橋技科大・院工)</p>	<p>3pB04 トマトの胚発生におけるジャスモン酸の機能解析 東村泰我¹, 泰まりな¹, 丹羽智子^{2,3}, 鈴木孝征⁴, 相田光宏⁵, 石黒澄樹¹(¹名古屋大・院生命農, ²明治大・農, ³明治大・研究知財, ⁴中部大・応用生物, ⁵熊本大・院先端科学)</p>	<p>3pC04 シロイヌナズナにおける低カリウムに応答した根毛形成 宮崎琴子¹, 高田未求², 西田翔^{2,3}(¹佐賀大院・農, ²佐賀大・農, ³鹿児島大院・連合農)</p>	<p>3pD04 複数年データに基づく国内ダイズ圃場の土壌ポライオーム解析 松本涼夏¹, 朽方ひかり¹, 濱本昌一郎², 福島敦史^{3,8}, 二瓶直登⁴, 市橋泰範⁵, 草野都^{6,7,8}(¹筑波大・院生命地球科学研究群, ²北海道大・院基盤研究部門生物環境工学分野, ³京府大・院生命環境科学, ⁴福島大・食農学類 農業生産学コース, ⁵理化学研究所バイオリソース研究センター, ⁶筑波大・院生命環境系, ⁷筑波大学つくば植物機能イノベーション研究センター, ⁸理化学研究所環境資源科学研究センター)</p>

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
環境応答B/環境ストレス	細胞壁	光受容体/光応答	膜交通				
<p>3pE01 幼若期干ばつストレスに伴うバレイショの代謝物および遺伝子発現変動 川本健太, 増富裕文, 吉岡睦美, 石原克之 (カルビー株式会社 研究部)</p>	<p>3pF01 ㊦ Mechanical alteration of <i>A.thaliana</i> and <i>P.patens</i> in response to stimuli Liyu Deng¹, Yunshu Wang², Yuta Nakagawa³, Andres Aguilar Ariza², Michitaka Notaguchi^{9,10}, Akihiro Isozaki³, Keisuke Goda^{3,6,7}, Toru Fujiwara², Hirotaka Hida³, Tomomichi Fujita⁴, Marcel Pascal Beier⁸ (1Grad. Sch. Life Science, Hokkaido University, 2Dep. Appl. Biol. Chem., Grad. Sch. Agri. Life Sci., The University of Tokyo, 3Dep. Chem., The University of Tokyo, 4Fac. Sci. Hokkaido University, 5Dep. Mech. Eng., Grad. Sch. Kobe University, 6Dep. Bioeng., University of California, 7Inst. Tech. Sci., Wuhan University, 8Inst. Adv. Higher Edu, Hokkaido University, 9Bioscience and Biotechnology Center, Nagoya University, 10Department of Biological Sciences, Kyoto University)</p>	<p>3pG01 イネ葉鞘に蓄積するアントシアニンは茎伸長を促進する 水谷未理^{1,2}, Quynh Ha¹, 大野峻³, 水嶋滯³, 高木絃^{1,4}, 後藤栄治⁵, 鈴木孝征⁶, Vincent Pamugas Reyes³, 土井一行³, 村尾瑞基⁷, 相原悠介⁸, 木下俊則^{7,8}, 松下智直⁹, 永井啓祐¹, 吉田久美³, 声基行¹ (1名古屋大・生物センター, 2奈良先端大・バイオ, 3名古屋大・院・農, 4名古屋大・遺伝子実験施設, 5九大・院・農, 6中部大・応用生物, 7名古屋大・院・理, 8名古屋大・ITbM, 9京大・院・理)</p>	<p>3pH01 シロイヌナズナ RABH1 GTPaseの機能解析 岩下明日香¹, 大堀智博², 伊藤容子³, 伊藤瑛海³, 中野明彦⁴, 上田貴志^{5,6}, 郷達明⁷, 中島敬二⁷, 植村知博^{1,2} (1お茶大・理・生物, 2お茶大・院・ライフサイエンス, 3お茶大・ヒューマンライフ, 4理研・光量子光学, 5基生研・細胞動態, 6総研大・基礎生物, 7奈良先端大・先端科学技術)</p>				13:30
<p>3pE02 ㊦ Ethanol application enhances freezing stress tolerance in Arabidopsis and sugar beet Daisuke Todaka¹, Kentaro Nakaminami¹, Seishi Ikeda², Kazuyuki Okazaki², Thi Nhu Quynh Do^{1,3}, Maho Tanaka^{1,4}, Satoshi Takahashi^{1,4}, Chioko Torii¹, Junko Ishida^{1,4}, Atsushi Nagano^{5,6}, Motoaki Seki^{1,4,7,8} (1Plant Genomic Network Research Team, RIKEN CSRS, 2Hokkaido Agricultural Research Center, NARO, 3AGI, 4Plant Epigenome Regulation Lab., RIKEN CPR, 5Fac. of Agr., Ryukoku Univ., 6IAB, Keio Univ., 7KIBR, Yokohama City Univ., 8Grad. Sch. Sci. Eng., Saitama Univ.)</p>	<p>3pF02 ㊦ Xyloglucan Endotransglucosylase Acts as a Potential Contributor to Plasmodesmata Development in the Moss <i>Physcomitrium patens</i> Phu Thanh Ngo¹, Marcel Pascal Beier², Chiyo Jinno³, Tomomichi Fujita³ (1Grad. Sch. Life Sci., Hokkaido Univ., 2Inst. Advan. Hi Edu., Hokkaido Univ., 3Fac. Sci., Hokkaido Univ.)</p>	<p>3pG02 ホスホエノールピルビン酸の細胞膜プロトンポンプに依存した活性化と気孔開口との関与 深津孝平¹, 林優紀¹, 鈴木孝征², 加納圭子³, 三城(佐藤)恵美³, 桑田啓子³, 木下俊則^{1,3} (1名古屋大・理・生命, 2中部大・応用生物, 3名古屋大・ITbM)</p>	<p>3pH02 シロイヌナズナ VAMP714の細胞内局在と生理機能の解析 江口倫子¹, 遠藤彩瑛¹, 伊藤瑛海², 中野明彦³, 植村知博¹ (1お茶の水女子大・院・ライフサイエンス, 2お茶の水女子大・ヒューマンライフ, 3理研・光量子工学)</p>				13:45
<p>3pE03 エタノール処理による植物の環境ストレス耐性の向上: <i>ADHI</i> 遺伝子の機能解析 川村亜綾^{1,2}, 戸高大輔¹, 松井章浩¹, 鳥居千恵子¹, 高橋直紀², 関原明^{3,4,5} (1理研 CSRS・植物ゲノム発現研究チーム, 2明治大・農, 3理研CPR・植物エビゲノム制御研究室, 4横浜市立大・木原生研, 5埼玉大・院・理工)</p>	<p>3pF03 ㊦ Bioengineering a better plant root - do phi thickenings make plant roots stronger? David Collings (Research School of Biology, Australian National University)</p>	<p>3pG03 ゼニゴケのフォトトロピンのリン酸化サイトおよび自己リン酸化様式の解析 野口穂^{1,2}, 野田沙希³, 松林嘉克³, 児玉豊^{1,2} (1宇都宮大・バイオセンター, 2宇都宮大・地域創生科学, 3名古屋大・院・理)</p>	<p>3pH03 花粉管伸長における VAMP72 グループの動態解析 東出あんな¹, 伊藤瑛海³, 伊藤容子³, 海老根一生^{4,5}, 東山哲也⁶, 上田貴志^{4,5}, 中野明彦⁷, 植村知博^{1,2} (1お茶大・院・ライフサイエンス, 2お茶大・基幹研究院, 3お茶大・ヒューマンライフ, 4基生研・細胞動態, 5総研大・基礎生物, 6東大・院・理, 7理研・光量子工学)</p>				14:00
<p>3pE04 ㊦ Application of 1-propanol enhances drought stress tolerance in <i>Arabidopsis thaliana</i> Quynh Do^{1,2}, Daisuke Todaka¹, Satoshi Takahashi^{1,2}, Maho Tanaka^{1,2}, Junko Ishida^{1,3}, Miyako Kusano^{4,5,6}, Makoto Kobayashi⁴, Kazuki Saito⁴, Atsushi Nagano^{7,8}, Xuan Hoi Pham², Motoaki Seki^{1,3,9,10} (1Plant Genomic Network Research Team, RIKEN CSRS, 2Agricultural Genetics Institute, Hanoi, Vietnam, 3Plant Epigenome Regulation Laboratory, RIKEN Cluster for Pioneering Research, 4Metabolomics Research Group, RIKEN CSRS, 5Graduate School of Life and Environmental Science, University of Tsukuba, 6Tsukuba Plant Innovation Research Center, University of Tsukuba, 7Faculty of Agriculture, Ryukoku University, 8Institute for Advanced Biosciences, Keio University, 9Kihara Institute for Biological, Yokohama City University, 10Graduate School of Science and Engineering, Saitama University)</p>	<p>3pF04 乾燥耐性の異なる 2 種の <i>Selaginella</i> 属植物の細胞壁構造 大橋桃花¹, 菊地拓真¹, 厚沢季美江², 金子康子³, 小竹敬久¹, 高橋大輔¹ (1埼玉大・院・理工, 2埼玉大・科学分析支援セ, 3埼玉大・教育)</p>	<p>3pG04 シロイヌナズナにおける可視光と UV-B 混合照射下での葉緑体配置 大竹桃¹, 末次憲之², 後藤栄治³, 武宮淳史⁴, 高瀬絆奈乃⁵, 梅澤泰史⁵, 和田正三⁶, 日出間純^{1,7} (1東北大・院・生命科学, 2東京大・院・総合文化, 3九州大・院・農学, 4山口大・院・創成科学, 5東京農工大・院・生物システム応用科学, 6東京都立大・院・理学, 7千葉大・宇宙園芸研究センター)</p>	<p>3pH04 ㊦ Retrieval from vacuolar/endosomal compartments underpinning neofunctionalization of SNARE in plants Yihong Feng¹, Kazuo Ebine^{1,2}, Yoko Ito³, Takehiko Kanazawa^{1,2}, Tatsuya Sawasaki⁴, Akira Nozawa⁴, Tomohiro Uemura³, Akihiko Nakano⁵, Takashi Ueda^{1,2} (1Division of Cellular Dynamics, National Institute for Basic Biology, 2Basic Biology Program, Graduate Institute for Advanced Studies, SOKENDAI, 3Graduate School of Humanities and Sciences, Ochanomizu University, 4Proteo-Science Center, Ehime University, 5Live Cell Super-Resolution Imaging Research Team, RIKEN Center for Advanced Photonics)</p>				14:15

㊦ = 発表の言語は英語

● 第3日 3月16日(日) 午後(13:30-16:30)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	発生・形態形成	環境応答A/生理反応	特化(二次)代謝
14:30	<p>3pA05 ㊦ Functional analysis of Trx-like protein CDSF32 in chloroplast redox regulation Minh Chau Tran¹, Yuka Fukushi¹, Masaru Kono^{1,2}, Toru Hisabori³, Keisuke Yoshida¹ (1Lab Chem Life Sci, Science Tokyo, 2ABC, 3SOKENDAI)</p>	<p>3pB05 側根創始細胞の極性形成におけるオーキシン極性輸送の役割 金田紗苗, 柿本辰男(大阪大・院理)</p>	<p>3pC05 シロイヌナズナ <i>LOHNI</i> は全身性の高窒素応答シグナルに応じてオーキシン輸送を制御し側根間隔を制御する 園田智也¹, 伊藤和洋¹, 岩田健太郎², 後藤千恵子^{2,3}, 深城英弘², 花田耕介⁴, 射場厚¹, 楠見健介¹ (1九州大・院・理, 2神戸大・院・理, 3大阪大・産研, 4九工大・生命情報工学)</p>	<p>3pD05 ㊦ Variation in Functional Compounds and Volatile Organic Compound Profiles across Twelve Sakura Cultivars Yongqing Cai¹, Shuri Kato², Asako Matsumoto², Makoto Kobayashi³, Miyako Kusano^{3,4,5} (1Grad.Sch.of Life and Envi. Sci., Univ. Tsukuba, 2Tama Forest Science Garden, 3RIKEN Center for Sustainable Resource Science, 4Faculty of life and Envi. Sci., Univ. Tsukuba, 5Tsukuba Plant Innovation Research Center, Univ. Tsukuba)</p>
14:45	<p>3pA06 カルビンベンソン回路とデンプン代謝をつなぐグルコース-6-リン酸イソメラーゼのレドックス制御 西出昂, 藤居航涼, 吉田啓亮(東京科学大・化学生命研)</p>	<p>3pB06 カルシウム振動に着目したシロイヌナズナ受精卵の伸長機構の解明 松本光梨¹, 康子辰², 中川朔未¹, 花木優河¹, 豊倉浩一³, 谷藤百香⁴, 野々山朋信², 石本志高⁵, 津川暁², 植田美那子^{1,4} (1東北大・院生命科学, 2秋田県大・システム, 3広島大・院統合生命科学, 4東北大・理, 5佐賀大・理工)</p>	<p>3pC06 低リン耐性植物 <i>Haeka laurina</i> の皮層組織からのリンゴ酸・酸性ホスファターゼ分泌 山田大綱^{1,2}, Lydia Ratna Bunthara¹, 田中輝^{1,3}, 小濱卓郎⁴, 丸山隼人⁵, 田中若奈¹, 西田翔^{3,6}, Hans Lambers^{2,7,8}, 佐々木孝行⁹, 和崎淳^{1,4,10} (1広島大院統合生命, 2西オーストラリア大, 3佐賀大農, 4広島大総合科学, 5北大農, 6鹿児島大院連合農, 7中国農薬大, 8北京林業大, 9岡山大植物研, 10広島大瀬戸内CNセ)</p>	
15:00		<p>3pB07 シロイヌナズナ胚における二放射相称性の確立と非対称的遺伝子発現 渡邊千吏², 楢垣匠^{1,2}, 石田喬志^{1,2}, 相田光宏^{1,2} (1熊本大・院・先端科学, 2熊本大・院・自然科学教育部)</p>	<p>3pC07 シロイヌナズナの鉄獲得におけるクマリン輸送体 CIT1 の機能解析 渡邊俊介^{1,2}, Meijie Li², Chérhazad Boustani², Kevin Robe², 菅野裕理³, 瀬尾光範^{3,4}, Christian Dubos² (1安田女子大・薬, 2IPSiM, Univ Montpellier, CNRS, INRAE, Institut Agro, 3RIKEN CSRS, 4琉大・熱生研)</p>	
15:15		<p>3pB08 表皮細胞分化とマスター転写因子の活性抑制 高田忍¹, 吉田彩香¹, 飯田浩行² (1大阪大学・理学部・生物, 2ヘルシンキ大学生物環境科学部)</p>	<p>3pC08 鉄欠乏とアルカリストレスがイネの鉄吸収機構 (StrategyII) に与える影響 岡村幸輝¹, 長坂征治^{1,2}, 駱衍祺¹, 工藤沙耶佳², 渡辺志昂² (1東洋大・院生命科学, 2東洋大・生命科学)</p>	
15:30		<p>3pB09 HD-ZIP IV 型転写因子による細胞周期制御を介した葉表皮発生の制御機構の解明 永田賢司¹, 宮下貴文², 岩元明敏³, 高橋卓⁴, 阿部光知¹ (1東大・院総合文化, 2神奈川大・院理, 3神奈川大・理・生物, 4岡山大・院自然科学)</p>		
15:45				

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
環境応答B/環境ストレス	細胞壁	光受容体/光応答	膜交通				
<p>3pE05 シロイヌナズナ野生系統間に見られる浸透圧耐性多様性機構の遺伝学的解析 村越祐介¹, 番場康介¹, 平野貴大¹, 増田悟郎¹, 有賀裕剛², 田中啓介³, 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹(¹東京農大・バイオ,²農研機構・遺伝資源,³東京農大・ゲノムセンター)</p> <p>3pE06 シロイヌナズナ塩馴化後浸透圧耐性欠損変異株 <i>aad28</i> および <i>aad29</i> の解析 Victor Kouspits¹, 増田悟郎¹, 細井昂人², 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹(¹東京農大・バイオ,²東京農大・ゲノムセンター)</p> <p>3pE07 転写因子 AtTRB3 は活性酸素除去酵素 CSD1/2 の遺伝子発現を制御することによってエタノールによる耐塩性強化に機能する 漆原晃太¹, 松井章浩², 田中真帆², 藤原すみれ³, 光田展隆³, 高木優³, 永野博^{4,5}, 関原明¹, 佐古香織^{1,2}(¹近大・農,²理研・CSRS,³産業技術総合研究所生物プロセス,⁴龍谷大・農,⁵慶應大・IAB)</p> <p>3pE08 シロイヌナズナ耐塩性獲得変異株 <i>sat4</i> および <i>sat6</i> の単離解析 大橋知世¹, 細井昂人², 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹(¹東京農大・バイオ,²東京農大・ゲノムセンター)</p> <p>3pE09 耐塩性シロイヌナズナ <i>Lch-0</i> より見出された <i>SALT</i> 遺伝子の変異は植物の耐塩性を向上させる 堀野拓磨¹, 内山佳織¹, 有賀裕剛², 長谷純宏³, 堀江智明⁴, 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹(¹東京農大・バイオ,²農研機構・遺伝資源,³QST高崎研,⁴信州大・繊維学部)</p> <p>3pE10 耐塩性シロイヌナズナから同定された <i>SALT</i> 遺伝子イネホモログの解析 久保田希美¹, 伊澤かなな¹, 有賀裕剛², 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹(¹東京農大・バイオ,²農研機構・遺伝資源)</p>	<p>3pF05 ケイ素吸収の抑制はソルガム細胞壁のリグニン含量を増加させる Reza Ramdan Rivai^{1,2,4}, 山崎清志^{1,3}, 宮本託志¹, 小林優², 飛松裕基¹, 徳永毅³, 藤原徹³, 梅澤俊明¹(¹京都大・生存研,²京都大・院・農,³東京大・院・農学生命,⁴RC, Appl. Botany, BRIN, Indonesia)</p> <p>3pF06 陸上植物の支持組織は細胞壁層構造とリグニン沈着をいつ獲得したか 高田直樹(森林総研・森林バイオ)</p> <p>3pF07 原生木部道管細胞の二次細胞壁パターン形成における微小管配向制御機構の解析 家門絵理¹, 米田新², 出村拓^{2,3}, 大谷美沙都^{2,3,4}(¹立命館大・生命,²奈良先端大・バイオ,³理研・CSRS,⁴東大・新領域)</p> <p>3pF08 G 層形成時に発現誘導が認められた糖転移酵素の機能解析 福築美月¹, 玉野桜子¹, 高橋大輔², 小竹敬久², 家門絵理¹, 石川和也³, 石水毅^{1,2}(¹立命館大・生命,²埼玉大・院理工,³立命館大・R-GIRO)</p>	<p>3pG05 CDKA が光応答を制御する新たな仕組みの解明 宮崎遼多¹, 井上夏実², 石川雅樹³, 長谷部光泰³, 関根政実⁴, 植本悟史², 藤田知道²(¹北大・院生命科学,²北大・院理,³基生研・生物進化,⁴石川県大・生物資源環境)</p> <p>3pG06 AtCFI は mRNA の 3'UTR 多様性を担保する 張晚娟¹, Łukasz Szewc², Mateusz Bajczyk², David Bielewicz², 由良敬^{4,5,6}, 大土井実郁¹, Cyrose Suzie Silvo Millado^{1,7}, 加藤真理子¹, Marta Garcia-León⁸, Vicente Rubio⁸, 野元美佳⁹, 多田安臣⁹, 古本強¹⁰, Zofia Szwejkowska-Kulinska², Dorothee Staiger¹¹, 青山卓史¹, Artur Jarmolowski², 植植知彦¹(¹京大・化研,²Adam Mickiewicz大・IMBB,³WCAT,⁴お茶大・院人間文化創成科学,⁵お茶大・文理融合AIデータサイエンス,⁶早大・先進理工,⁷Philippines大 Mindanao・DBSES,⁸CNB-CSIC,⁹名大・遺伝子,¹⁰龍大・農,¹¹Bielefeld大・Biology)</p> <p>3pG07  Characterization of a novel nuclear protein of the SAPI30/CPSF160/DBD1 family Cyrose Suzie Silvo Millado^{1,2}, Kei Yura^{3,4}, Vicente Rubio⁵, Mariko Kato¹, Tomohiko Tsuge¹(¹ICR, Kyoto University,²DBSES, University of the Philippines Mindanao,³Grad. Sch. Humanit. Sci., Ochanomizu University,⁴Sch. Adv. Sci. Eng., Waseda University,⁵CNB-CSIC)</p> <p>3pG08  Investigation of downstream components of the B4 Raf-like kinase PRAF in <i>Marchantia polymorpha</i> Shota Yamauchi¹, Eri Koide², Kota Yamashita³, Hinano Takase³, Taishi Umezawa³, Hirofumi Nakagami⁴, Takayuki Kohchi², Ryuichi Nishihama¹(¹Dept. Appl. Biol. Sci., Fac. Sci. Tech., Tokyo Univ. Sci.,²Grad. Sch. Biostudies, Kyoto Univ.,³Grad. Sch. BASE, Tokyo Univ. Agri. Tech.,⁴Max Planck Inst. Plant Breed. Res.)</p>	<p>3pH05 維管束植物固有のゴルジ体局在因子 SYLK (Syntaxin 6-like protein in vascular plant) の機能解析 東出さら¹, 伊藤瑛海², 伊藤容子², 清水優太郎³, 晝間敬⁴, 矢守航⁵, 勝濱直樹⁵, 中野明彦⁶, 植村知博⁷(¹お茶大・院・ライフサイエンス,²お茶大・ヒューマンライフ,³ポルドー大・CNRS,⁴東大・院・総合文化,⁵東大・院・農,⁶理研・光子工学,⁷お茶大・基幹研究院)</p> <p>3pH06 SYP4 Qa-SNARE タンパク質はオーキシン依存的な発生過程の制御に関与する 萩田航佑¹, 深澤成実¹, 王瑞安², 谷川瞳月², 植村知博³, 田中博和¹(¹明治大・院・農・生命,²明治大・農・生命,³お茶大・基幹研究院・自然科学系)</p> <p style="text-align: center;">バイオリソース</p> <p>3pH07 イネ遺伝資源のイオノームデータを用いた GWAS 解析 田中伸裕¹, 川原善浩², 江花薫子³, Matthew Shenton¹(¹農研機構作物研究部門,²農研機構高度分析センター,³農研機構遺伝資源センター)</p> <p>3pH08 RADseq 法による遺伝地図と PacBio HiFi ロングリードシーケンス法を組み合わせた <i>Streptocarpus grandis</i> の染色体レベルゲノムアセンブリ 西井かなえ^{1,2}, Michael Möller², Nathan Kelso², Sadie Barber², Michelle Hart²(¹神奈川大学,²王立エディンバラ植物園)</p> <p>3pH09 培養光量の差異が養殖飼料用珪藻 <i>Chaetoceros gracilis</i> の健康関連物質生成量に及ぼす影響 武部絃明, 櫻井敦, 今村壮輔 (NTT)</p>				14:30
							14:45
							15:00
							15:15
							15:30
							15:45

 = 発表の言語は英語

● 第3日 3月16日(日) 午後(13:30-16:30)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場
	光合成	発生・形態形成	環境応答A/生理反応	特化(二次)代謝
16:00				
16:15				

一般講演・口頭発表 座長一覽

1日目 3月14日(金) 午前

1aA01-1aA11 光合成 秋田 総理
皆川 純
藤井 律子

1aB01-1aB12 発生・形態形成 古水 千尋
久永 哲也
酒井 友希

1aC01-1aC12 オルガネラ/細胞骨格 岩渕 功誠
富永 基樹
井上 悠子

1aD01-1aD12 ゲノム機能・遺伝子発現制御 鈴木 孝征
中井 由実
平川 英樹

1aE01-1aE12 環境応答B/環境ストレス 永井 啓祐
篠澤 章久
深尾 陽一郎

1aF01-1aF09 植物ホルモン/シグナル伝達物質 西山 康太郎
小松 愛乃

1aG01-1aG12 生殖 水多 陽子
海老根 一生
南野 尚紀

1aH01-1aH12 植物生物間相互作用A 安田 盛貴
門田 康弘
館田 知佳

1日目 3月14日(金) 午後

1pA01-1pA11 光合成 柴田 穰
広瀬 侑
三野 広幸

1pB01-1pB11 発生・形態形成 榊原 恵子
養老 瑛美子
小山 知嗣

1pC01-1pC11 オルガネラ/細胞骨格 鳥田 貴士
高野 博嘉

華岡 光正

1pD01-1pD09 ゲノム機能・遺伝子発現制御 伊藤 佑
大矢 恵代
坂本 卓也

1pE01-1pE07 花成/時計 木下 温子
阿部 光知

1pF01-1pF09 植物ホルモン/シグナル伝達物質 青山 剛士
高橋 宏二

1pG01-1pG11 生体膜・イオン・物質輸送 小西 範幸
栗田 悠子
井上 晋一郎

1pH01-1pH11 システム生物学 大林 武
永野 惇
圓山 恭之進

2日目 3月15日(土) 午前

2aA01-2aA11 光合成 西山 佳孝
伊福 健太郎
桶川 友季

2aB01-2aB12 発生・形態形成 ドル 有生
近藤 侑貴
島津 舜治

2aC01-2aC12 オルガネラ/細胞骨格, 細胞周期・分裂 本瀬 宏康
松岡 健
濱田 隆宏

2aD01-2aD11 一次代謝 佐藤 長緒
宮城 敦子
小川 健一

2aE01-2aE12 環境応答B/環境ストレス 真野 純一
高橋 史憲
滝澤 謙二

2aF01-2aF09 植物ホルモン/シグナル伝達物質 篠原 秀文
岡本 暁

2aG01-2aG12 生殖
井川 智子
杉 直也
戸田 絵梨香

2aH01-2aH12 植物生物間相互作用 B
晝間 敬
稲葉 尚子
杉山 暁史

3日目 3月16日(日) 午前

3aA01-3aA10 光合成
松田 祐介
川合 真紀
古本 強

3aB01-3aB11 発生・形態形成
豊倉 浩一
郷 達明
加藤 真理子

3aC01-3aC12 環境応答 A / 生理反応
上田 晴子
西村 岳志
須田 啓

3aD01-3aD12 一次代謝, 特化(二次)代謝
肥塚 崇男
棟方 涼介
杉山 龍介

3aE01-3aE12 環境応答 B / 環境ストレス
太治 輝昭
溝井 順哉
今村 壮輔

3aF01-3aF10 植物ホルモン / シグナル伝達物質
木羽 隆敏
西村 宜之

3aG01-3aG10 新技術開発
三木 大介
石田 喬志
小田原 真樹

3aH01-3aH12 植物生物間相互作用 B
川原田 泰之
赤松 明
亀岡 啓

3日目 3月16日(日) 午後

3pA01-3pA06 光合成
清水 隆之
吉田 啓亮

3pB01-3pB09 発生・形態形成
高田 忍
松本 光梨

3pC01-3pC08 環境応答 A / 生理反応
楠見 健介
西田 翔
渡邊 俊介

3pD01-3pD05 特化(二次)代謝
森 哲哉
山田 泰之

3pE01-3pE12 環境応答 B / 環境ストレス
関 原明
佐古 香織
中野 雄司

3pF01-3pF08 細胞壁
家門 絵理
小林 優

3pG01-3pG08 光受容体 / 光応答
深津 孝平
山内 翔太

3pH01-3pH09 膜交通, バイオリソース
田中 博和
伊藤 谷子